



資 料 編



表1-2-3 第三次長野県環境基本計画の実施施策

大項目	中項目	小項目	施策項目	
参加と連携で築く豊かな環境・持続可能な信州	参加と連携による環境保全	参加と連携による環境保全	環境保全活動の推進	
			環境教育の推進	
			環境影響評価による環境保全の推進	
			県環境保全研究所における調査研究等	
			景観形成、緑化の推進	
	地球温暖化対策・環境エネルギー政策の推進 (持続可能で低炭素な環境エネルギー地域社会の構築)	エネルギー需要の県民の手によるマネジメント	エネルギー消費量の削減	◎
			エネルギーの特性に応じた適切な使用	
		再生可能エネルギーの利用と供給の拡大	再生可能なエネルギーによる発電設備の拡大	◎
			再生可能な熱・燃料の拡大	◎
		総合的な地球温暖化対策の推進	地球温暖化の抑制	
			地球温暖化への適応	
	循環型社会の形成 (「もったいない」を大切にして、信州が誇るライフスタイルを)	廃棄物の発生抑制・再資源化の推進	廃棄物の発生抑制の推進	◎
			資源の循環利用の推進	
			排出抑制・再資源化の総合的な取組	
		廃棄物の適正処理の推進	廃棄物の適正処理の推進	
			不適正処理・不法投棄防止等の監視指導	
	水・大気環境の保全	水資源の保全と適正な利活用	水資源の保全	◎
			水源林の保全	
		安心安全な水の保全	水質の保全	
			生活排水対策	
		快適な水環境の保全	水辺地、水辺空間の保全	
			水環境とのふれあいの推進	
		大気環境等の保全	大気環境の保全	
			アスベスト対策	
			騒音・振動・悪臭の防止	
		化学物質対策	ダイオキシン類対策	
			化学物質対策	
		放射能対策	空間放射線量の把握	
東京電力(株)福島第一原子力発電所事故に係る対応				
自然環境の保全 (未来へつなごう生命(いのち)のにぎわい)	多様な自然環境の保全	生物多様性の保全と持続可能な利用の推進	◎	
		連携と協働による保全対策の推進		
		自然公園施設等の整備・管理		
	自然との豊かなふれあいの確保	自然とふれあう機会の充実		
		観光利用との調和		
		自然公園の適切な管理		
	森林や農山村の多面的機能の発揮	森林整備による生活環境や良質な自然環境の保全		
		農山村の多面的機能の維持と環境保全		
野生鳥獣の保護管理				

※「◎」は重点施策です
中項目の各項目における()内には、個別計画の基本目標等を記載しています

表1-2-4 第三次長野県環境基本計画 目標の進捗状況

項 目		基準値 (H23年度)	最新の 実績値	目標値 (H29年度)
参加と連携による環境保全	信州環境フェア地域連携事業数	0件	3件	9件
	環境保全研究所の自然ふれあい講座等受講者数	437人	352	500人
	森林(もり)の里親促進事業契約数	75件	96件	125件
	景観行政団体市町村数	12市町村	17市町村	20市町村
地球温暖化政策の推進 環境エネルギー	県内の温室効果ガス総排出量	15,311千t-CO ₂ (1990(H2)年度)	+5.6% (16,171千t-CO ₂) (2011(H23)年度)	1990年度比 △6%
	最終エネルギー消費量	18.6万TJ (2010(H22)年度)	△5.4% (17.6万TJ) (2012(H24)年度)	2010年度比 △10%
	最大電力需要	297万kW (2010(H22)年度)	△0.5% (295.5万kW)	2010年度比 △10%
	自然エネルギー導入量	1.1万TJ (2010(H22)年度)	1.2万TJ (2012(H24)年度)	1.5万TJ
	自然エネルギー発電設備容量	10万kW (2010(H22)年度)	43.6万kW	24万kW
	発電設備容量でみるエネルギー自給率	58.6% (2010(H22)年度)	70.0%	70.0%
	長期優良住宅の認定を受けた新築住宅数	18.1% (2011(H23)年度)	14.7%	20.0% (H32年度)
循環型社会の形成	1日1人当たり一般廃棄物排出量	862g/人・日 (H22年度)	862g/人・日 (H24年度)	800g/人・日
	産業廃棄物総排出量	3,709千t (H20年度)	3,677千t (H24年度)	3,600千t
	産業廃棄物減量化・適正処理実践協定 協定締結事業者数	135者 (H23年度末)	148者	200者 (H29年度末)
	建設副産物(アスファルト・コンクリート塊)の再利用率	98.8% (H20年度)	99.7% (H24年度)	100%
	建設副産物(コンクリート塊)の再利用率	97.4% (H20年度)	99.7% (H24年度)	100%
水・大気環境の保全	水道水源地における保全が必要な水源林の公的管理	—	1.0%	100%
	保全が必要な水源の水資源保全地域の指定	—	0.2%	100%
	河川環境基準達成率	98.6%	94.4%	98.6%
	湖沼環境基準達成率	53.3%	33.3%	60.0%
	地下水環境基準達成率	94.0%	89.4%	95.0%
	汚水処理人口普及率	95.9%	96.8%	98.1%以上
	自動車騒音環境基準達成率	91.6%	92.7%	93.0%

水・大気環境の保全	大気環境基準達成率（光化学オキシダントを除く）	100%	100%	100%
	昼間の光化学オキシダント環境基準値達成率（時間）	95.8%	95.0%	96.0%
	有害大気汚染物質環境基準達成率	100%	100%	100%
	水質のダイオキシン類環境基準達成率	100%	100%	100%
	大気中のダイオキシン類環境基準達成率	100%	100%	100%
	土壌・底質のダイオキシン類環境基準達成率	100%	100%	100%
自然環境の保全	「生物多様性」の認識状況	0%未満 (H22年度)	30%未満 (H24年度)	50% (H32年度)
	希少野生動植物保護回復事業計画策定数	9種	11種	15種 (H32年度)
	自然公園の指定面積	278,549ha (H22年度)	278,549ha (H22年度)	拡大 (H32年度)
	自然環境保全地域面積	790ha (H22年度)	790ha (H22年度)	拡大 (H32年度)
	都市農村交流人口	546,544人 (H22年度)	608,703人	600,000人
	山小屋トイレにおけるし尿処理施設整備率	70.6% (H22年度)	76.8%	85.0% (H32年度)
	間伐の推進（森林の公益的機能の高度発揮）	104,885ha (H19-23年度)	21,821ha	94,000ha (H25-29年度)
	林業就業者数（林業の担い手の確保）	2,461人	2,022人	3,000人 (H32年度)
	高性能林業機械の稼働台数	209台	266台	390台 (H32年度)
	素材生産量	329千m ³	437千m ³	750千m ³ (H32年度)
	県産材の製材品出荷量	109千m ³	132千m ³	237千m ³ (H32年度)
	信州の環境にやさしい農産物認証面積	1,483ha (H22年度)	1,537ha	2,200ha
	地域ぐるみで取り組む農地・水・環境の保全活動	22,484ha (H22年度)	24,710ha	25,000ha
	二ホンジカの農林業被害の減少市町村の割合	50%	57.0%	100%

表2-1-2 環境月間の主な行事

(平成25年度)

行事の名称
「環境の日」「環境月間」広報活動
環境保全・省エネルギーに関するポスター・標語作品の募集
信州エコポイント事業
信州省エネパトロール隊に省エネ診断
サマーエコスタイルキャンペーン
CO ₂ 削減/ライトダウンキャンペーン
昼も夜もライトダウン2013
アイドリング・ストップ運動
アレチウリ駆除活動
せせらぎサイエンス
自然観察会
食べ残しを減らそう県民運動
「レジ袋削減県民スクラム運動」推進強化月間
マイバッグ持参推進キャラバン
一般・産業廃棄物関係立入検査
不法投棄防止パトロール
自然ふれあい講座
各種自然体験、野外活動

(環境政策課調べ)

表2-1-11 環境配慮制度の手續実施状況

(平成26年3月31日現在) (単位：件)

事業	状況	公共事業	公共事業	廃止事業	合計
		方法書	環境配慮書		
道路（改築）		3	11		14
砂防堰堤		4	1		5
山腹工事			1		1
かんがい排水施設			6		6
建築物		1	4	1	6
合計		8	23	1	32

(環境政策課調べ)

表2-1-10 環境影響評価手續の実施状況

(平成26年3月31日現在) (単位：件)

事業	状況	環境影響評価手續実施状況				事業進捗状況					
		県要綱 調査実施 通知書※1	方法書	準備書	評価書	計	未着手	工事中	完了	廃止	計
要綱又は 条例に 基づく 事業	道路				3	3		3			3
	飛行場				1	1			1		1
	風力発電所		1 (1)			1				1	1
	ごみ処理施設		2		4	6	4	1	1		6
	し尿処理施設				1	1			1		1
	廃棄物最終処分場	1			2	3	1			2	3
	ゴルフ場 又はスキー場	16		3 (3)	24	43	6		20	17	43
	別荘団地	2			2	4	1	1		2	4
	複合施設				1※2	1				1※2	1
計		19	3	3	38	63	12	5	23	23	63
法 事 業	道路				2	2		2			2
	水力発電所				1	1				1	1
	新幹線鉄道			1	1	1	1				1
計				1	3	4	1	2		1	4
合計		19	3	4	41	67	13	7	23	24	67

(環境政策課調べ)

注) 括弧内の数字は、方法書又は準備書段階の事業のうち、廃止又は中断した事業の件数

※1：長野県環境影響評価指導要綱において、事業者が対象事業を実施する際に、知事や対象事業を管轄する市町村長に通知する文書

※2：スキー場と別荘団地の複合施設

表 2-1-12 県環境保全研究所の試験検査（環境部分抜粋）（平成 25 年度）

目 標	施 策	試 験 検 査 ・ 行 政 事 業
豊かな自然や 環境の保全と継承	水・大気環境の保全	<ul style="list-style-type: none"> ・公共用水域水質常時監視に係る水質調査 ・須高地区酸性水対策調査 ・上流域河川水質調査 ・諏訪湖水質保全対策 ・野尻湖水質保全対策 ・大気常時監視 ・浮遊粒子状物質共同調査 ・有害大気汚染物質モニタリング ・温室効果ガス及びオゾン層破壊物質モニタリング ・化管法関連環境調査 ・北陸新幹線鉄道騒音振動調査 ・自動車騒音調査 ・航空機騒音調査 ・大規模小売店舗立地法に係る騒音関係の審査 ・アスベスト環境モニタリング調査 ・酸性雨モニタリング調査・実態調査 ・国設酸性雨測定所の管理・運営 ・環境放射能水準調査 ・化学物質環境実態調査
	廃棄物対策及び 循環型社会への 取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物最終処分場に関する実態調査 ・降下粉じんの検査 ・産業廃棄物関連施設における廃棄物等の検査 ・アスベスト廃棄物取扱い事業所等周辺環境調査
	自然環境の 保全と活用	<ul style="list-style-type: none"> ・長野県版レッドリスト及び指定希少野生動植物等に関する業務 ・特定鳥獣保護管理計画・野生鳥獣被害対策に係る業務
	地球温暖化の 影響把握と対策	<ul style="list-style-type: none"> ・長野県における温暖化適応策立案手法に係る業務 ・長野県における家庭の省エネに係る業務
危機管理への対応	危機管理	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急事例及び事案への対応検査

表 2-1-13 検査検体数（環境部分抜粋）（平成 25 年度）

種 別	行 政 検 査	一 般 依 頼 検 査	合 計
水 質（環 境）	1,124	12	1,136
水 質（発 生 源）	15	6	21
水 質（生 活 水 等）	19	0	19
大 気（環 境）※ 1	19,948	0	19,948
大 気（発 生 源）	1	0	1
騒 音 ・ 振 動	2,574	0	2,574
土 壌	32	0	32
化 学 物 質	185	0	185
廃 棄 物（一 廃）	91	4	95
廃 棄 物（産 廃）	78	0	78
廃 棄 物（そ の 他）	17	0	17
放 射 能 ※ 2	9,621	0	9,621
ア ス ベ ス ト	221	0	221
総 計	33,926	22	33,948

※ 1 大気（環境）検査は、機器による連続測定が含まれるため、検査検体数が多い。

※ 2 環境試料以外の検体を含む。

表2-1-14 平成25年度県環境保全研究所調査研究テーマ一覧（本文課題の調査研究を除く）

テ ー マ	調 査 研 究 の 概 要
野尻湖の水質汚濁機構に関する研究	野尻湖は湖沼法に基づく水質保全計画により各種対策が進められ、窒素、りんは改善されたが、CODは環境基準の達成に至っていない。そこで野尻湖の水質汚濁機構を解明し有効な改善対策を検討するため、有機物の挙動等を検証し、更に次期野尻湖水質保全計画策定のため、湖への流入河川の調査を実施している。平成25年度は湖水及び湖への流入河川について水質調査を実施した。
豊丘村における地下水保全対策の効果に関する研究	H16年度に硝酸性及び亜硝酸性窒素汚染の調査を行った豊丘村の井戸水についてH25年度に水質調査を行いその結果を比較すると、およそ7割の井戸水で濃度が減少していた。一方、施肥などによる村全体の窒素の投入量を農業関係等の統計資料から推定し、その動向と井戸水の水質との関係を検討した。
水質事故対応支援に向けた微量有害物質の分析法に関する研究	事案対応への支援を目的に、未規制化学物質の極低濃度レベルの高精度分析法および実用的な多種類の汚染物質の一斉分析法の開発を行った。後者の対象物質として200種を越える農薬を対象にGC/MSによる測定分析の検討を行った。
長野県における光化学オキシダントの濃度予測	近年、全国的に濃度が上昇傾向にある光化学オキシダントについて、県内で高濃度となりやすい東北信地域について高濃度予測システムの構築するため、高濃度時のデータ解析を行った。
山岳地域のデータを生かした長野県内大気中の揮発性有機化合物の動態把握	人為的な揮発性有機化合物（VOC）の妨害を受けにくい山岳地域（八方尾根）において調査を行い、植物起源VOCの動態及び光化学オキシダントへの寄与、代替フロン類等の経年変化について検討した。
航空機騒音調査方法の検討	航空機騒音の環境基準が改正され、騒音の評価方法が変更された。このため松本空港において騒音測定を実施し、航空機騒音の識別や妨害音の判別など、実際の調査における課題について検討した。
酸性沈着による汚染実態の把握に関する研究	国際的な標準法である降水時開放型捕集装置を用いて湿性沈着量を捉え、さらにフィルターパック法（FP法）により乾性沈着量を求め、酸性物質の環境に及ぼす影響について引き続き調査を行った。
廃石膏ボード混入土壌中の石膏含有量の測定に関する調査研究	建築解体等から発生する廃石膏ボードがリサイクルや最終処分されず、不適正処理された事案に対応するため、土壌に混入した廃石膏ボードの定性試験及び定量試験の方法について検討した。
下水汚泥焼却灰の適正処理と資源化に関する調査研究	下水汚泥焼却灰の中には流入下水に起因して砒素含有量の高いものがあり、埋立処理あるいはリン肥料化等の再資源化の障害となる。そこで、下水汚泥焼却灰中の砒素の不溶化技術及び除去技術について検討した。
下水処理場における発生汚泥の削減及び省エネ運転に関する研究	下水道の維持管理上、良好で効率的な汚水処理を行うことは重要であり、県内で多く採用されているオキシデーショントッチ法の省エネ運転について、モデル施設において活性汚泥濃度を変化させる実証実験を行い、汚泥発生量・電力使用量及び処理水質の変化を調査した。
外来生物のモニタリングと対策に関する調査研究	生態系への影響、農林水産業への被害、病原体の媒介等様々な問題が懸念される外来生物のうち、特に問題の大きいもの（アメリカミンク、ガビチョウ、ウチダザリガニ、オオカワヂシャなど）について県内における現状把握を行った。
長野県の地学・地文遺産の活用とエコツーリズムに関する調査研究	長野県の豊かな自然環境を支える代表的な地学・地文現象について、全県的にそれらの分布と特徴をリストアップするとともに、エコツーリズム素材としてそれらの情報の効果的な活用について、調査研究を行った。

高山帯における生態系モニタリングの推進に関する調査研究	近年の気候変動やニホンジカ等の分布拡大が高山生態系（植物、鳥、昆虫等）へどのような影響をもたらすかを把握するため、モニタリング手法並びにサイトの構築を現地調査及びセンサーカメラ等により行った。
野生鳥獣の生態と保護管理に関する調査研究及び被害対策の普及啓発	特定鳥獣保護管理計画の実施を支援するため、関係機関と連携しながら、野生動物の保護管理におけるモニタリング調査や被害対策に関する環境教育などを継続して行った。 ・クマやシカの捕獲個体の歯による年齢査定 ・シカのライトセンサスによる個体数動向調査及び植生への影響調査 ・カワウ、カワアイサなどの魚食性鳥類の生息状況等の把握
都市の温暖化予測および適応策検討に関する調査研究	都市では、地球温暖化に加えてヒートアイランドの影響により高温化が加速されることから、長野市を対象として、都市域の温暖化対策をおこなうために必要な気温分布の観測並びに将来予測の計算をした。
家庭や地域レベルでの温暖化影響と対策に関する調査研究	家庭のCO ₂ 排出量の削減対策として、省エネ診断の際に利用できる診断ツールや比較データの作成を、県内アンケートの分析結果に基づいて作成した。また、天然寒天生産など温暖化の影響を受けやすいと思われる伝統産業について、現状での影響と対策状況についてヒアリング調査を実施した。
「インフルエンザ(H1N1)2009」の長野県における動向	平成21年度から流行が開始された「インフルエンザ(H1N1)2009」（発生時は新型インフルエンザ(swH1)）について、県下における分離(流行)株の抗原性の変異の有無を検討するとともに、合わせて抗体保有状況について調査し、県内での「インフルエンザ(H1N1)2009」の浸淫状況を調査した。
下痢原性大腸菌の疫学に関する調査・研究	下痢原性大腸菌の検査法はこれまで、非下痢原性大腸菌との鑑別として血清型検査による振り分けが長年使われてきたが、近年の遺伝子検査法の急速な普及に伴い、PCR法により病原因子を検索する方法が主流となってきた。そこで、過去、当所到下痢原性大腸菌疑い等として保健所・医療機関等から送付された大腸菌のうち、当時の検査により下痢原性大腸菌と同定されなかった菌株について病原性関連遺伝子の検索を実施し、従来法と新法との比較検討を行った。
呼吸器系ウイルスに関する調査・研究	急性呼吸器感染症は多数のウイルスが原因となる事が知られているが、それらのウイルスの網羅的な検出には至っていないのが現状である。そこで、感染症発生动向調査事業により搬入された急性呼吸器感染症患者検体について遺伝子検査を行い、呼吸器系ウイルスのデータを収集し、県内の発生动向を調査した。
ウイルス性食中毒の疫学に関する調査・研究	ノロウイルス等ウイルスを原因とする食中毒は毎年多くの事例が発生しており、感染防止対策は食品衛生行政上において非常に大きな課題となっている。当研究では食中毒事例における検査及び疫学データの収集と解析検討を行った。また同じウイルス性食中毒であっても、感染から発症に至るまでの経過が長く疫学情報を得ることが難しいE型肝炎ウイルスの県内における浸潤状況調査を行った。
環境中における病原微生物の生態状況に関する調査研究	水及び土壌等の環境からの病原微生物の感染に関しては、不明点が多いのが現状であることから、これらの感染源を特定していくために、環境中のレジオネラ属菌等の病原微生物の分布状況を調査し、環境由来感染症の原因究明につながる基礎データを得た。
器具・容器包装等の告示試験法及び代替試験法の性能評価に関する調査研究	食品に用いられるゴム製及びPET製の器具・容器包装の規格基準について、性能未評価の告示試験法及びその試験法の代替法として汎用される分析法について、試験法としての性能評価を他の研究所と共同で試験を行い検討した。
食品に残留する農薬及び動物用医薬品試験法の妥当性評価に関する調査研究	食品中の農薬及び動物用医薬品の11試験法について厚労省から示された妥当性評価ガイドラインに準じて妥当性評価試験を実施し、評価・解析を行った。

表2-3-1 ごみ処理施設数

種 別	施 設 数	処 理 能 力
焼却施設	25	2,467t/日
ごみ堆肥化施設	7	124t/日
汚泥再生処理センター	4	484kℓ/日
リサイクルプラザ	2	205t/日
粗大ごみ処理施設及び不燃物処理資源化施設	27	458t/日
ストックヤード	33	—
最終処分場	43	—

(資源循環推進課調べ)

図2-3-3 ごみ処理施設の設置状況 (平成25年4月1日現在)

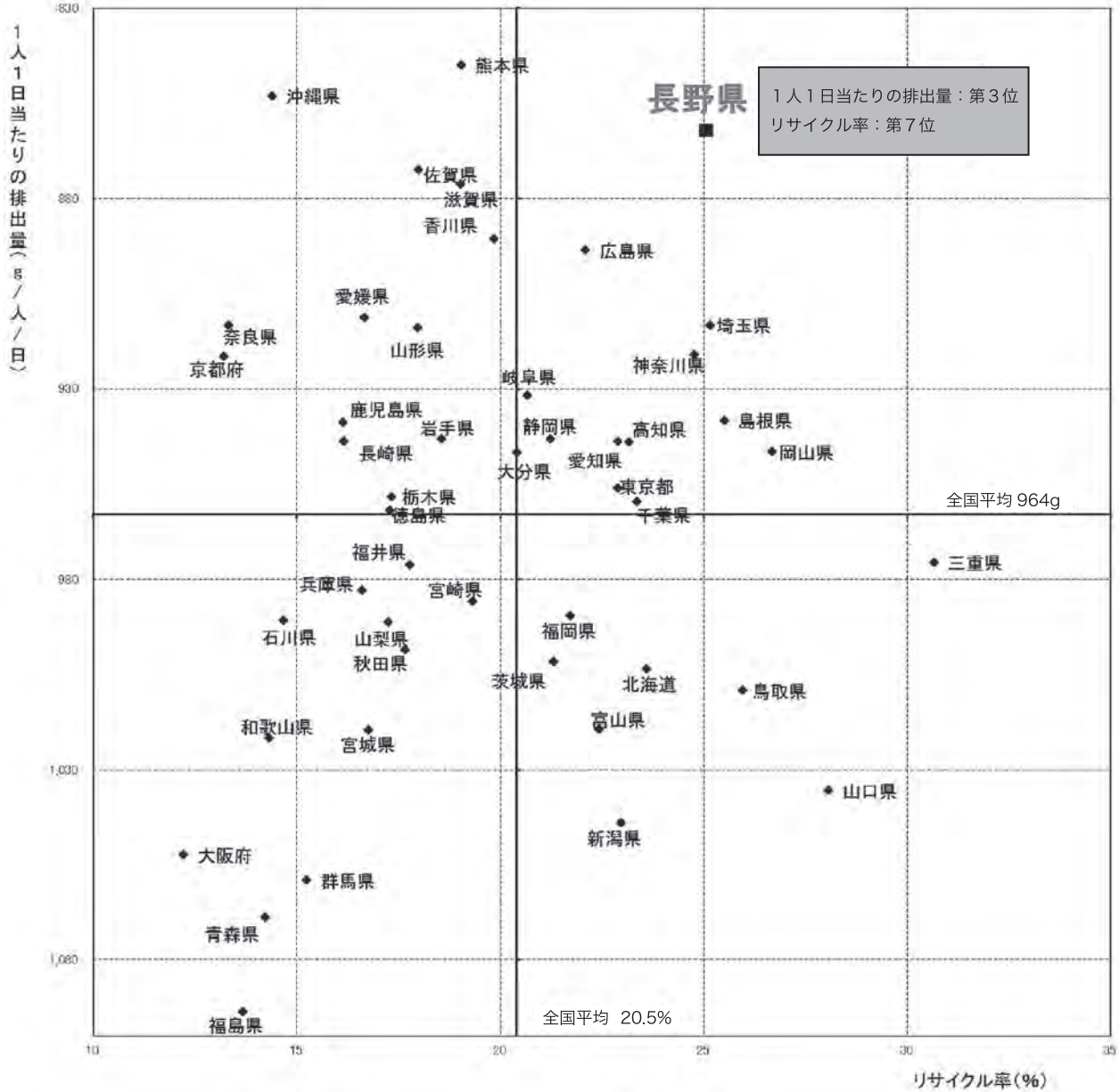


(資源循環推進課調べ)

資
料

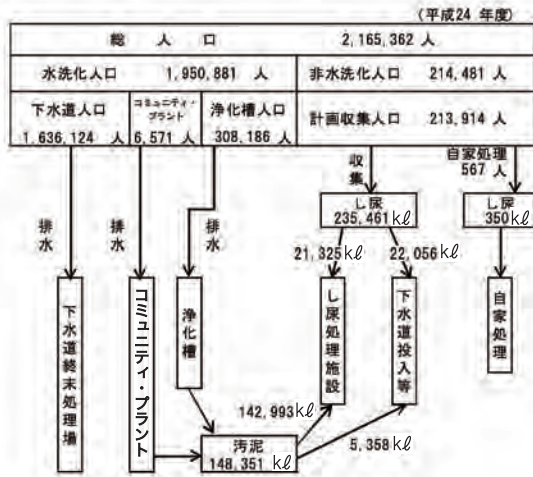
図2-3-5 一般廃棄物排出量とリサイクル率の都道府県分布

(平成24年度)



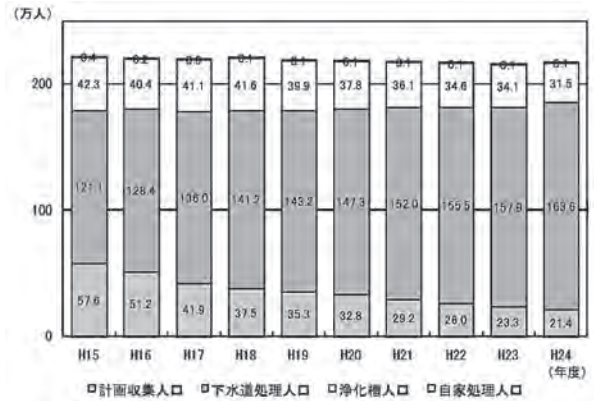
(資源循環推進課調べ)

図2-3-6 し尿の排出及び処理の状況



(資源循環推進課調べ)

図2-3-7 し尿排出形態別人口の推移



(資源循環推進課調べ)

図2-3-8 し尿処理施設の設置状況 (平成25年4月1日現在)

種別	施設数	処理能力
し尿処理施設	23施設	2,280kℓ/日



(資源循環推進課調べ)

表2-3-2 中間処理施設(許可対象施設)の許可状況

(平成26年3月31日現在)

区 分	設 置 数		
	事業者	処理業者	計
汚泥の脱水施設	14(1)	16(4)	30(5)
汚泥の乾燥施設	1(1)	5(0)	6(1)
汚泥の焼却施設	1	8(1)	9(1)
廃油の油水分離施設	0	5(1)	5(1)
廃油の焼却施設	1	8(2)	9(2)
廃酸・廃アルカリの中和施設	0	1(1)	1(1)
廃プラスチック類の破砕施設	3(1)	39(5)	42(6)
がれき類等の破砕施設	49(31)	305(53)	354(84)
廃プラスチック類の焼却施設	0	14(2)	14(2)
汚泥のコンクリート固形化施設	0	1	1
シアン化合物の分解施設	0	1(1)	1(1)
産業廃棄物の焼却施設	1(0)	24(2)	25(2)
計	70(34)	427(72)	497(106)

(注1) 許可対象施設とは、施設の処理能力が一定規模を越えるものをいう。

(注2) 建設中の施設を除く。

(注3) () 内は、長野市管轄分で内書きである。(資源循環推進課調べ)

表2-3-3 最終処分場の設置状況

区 分	安定型	管理型	遮断型	計
許可対象施設	12(0)	4	2	18(1)
許可対象外施設	7(0)	—	—	7(0)
計	19(0)	4	2	25(0)

(平成26年3月31日現在)

(注1) 建設中及び残存容量がゼロの施設を除く。

(注2) () 内は、長野市管轄分で内書きである。(資源循環推進課調べ)

図2-3-10 産業廃棄物最終処分場残存容量の推移

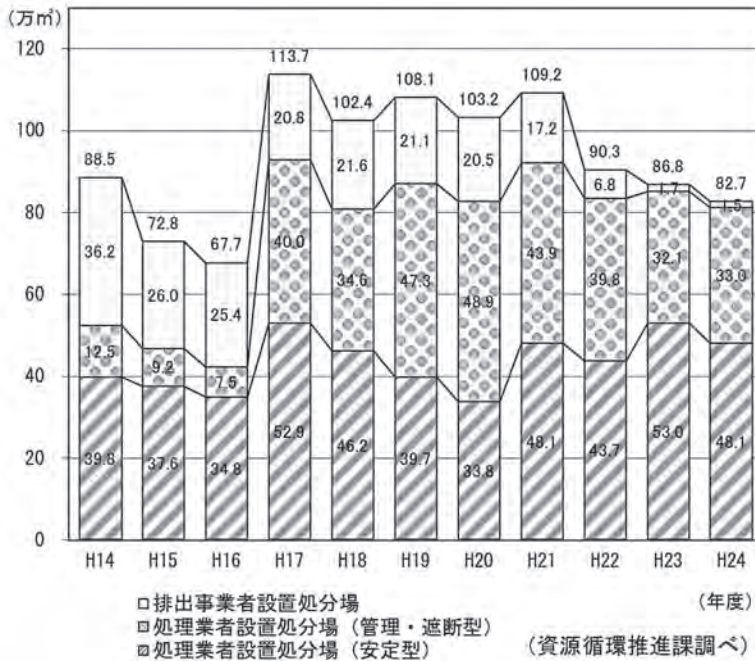


表2-4-1 水資源保全地域の指定状況

(平成26年3月31日現在)

広域圏名	市町村名	地区名	水源数	指定年度
佐久	小海町	小海町五箇水資源保全地域	1	H25
計	1町	1地域	1水源	

表2-4-5 水道水源保全地区の指定状況

(平成26年3月31日現在)

広域圏名	市町村名	地区名	面積 (ha)	指定年度
佐久	南牧村	所沢水道水源保全地区	265	H6
	北相木村	横屋沢水道水源保全地区	48	H7
		寄沢水道水源保全地区	4	H13
上小	上田市	余里水道水源保全地区	30	H8
	長和町	大沢水道水源保全地区	53	H8
		上組水道水源保全地区	25	H8
		北沢水道水源保全地区	60	H8
	青木村	田沢水道水源保全地区	44	H7
		白川水道水源保全地区	39	H10
上伊那	伊那市	猪鹿水道水源保全地区	290	H11
		大沢水道水源保全地区	180	H13
	辰野町	大沢水道水源保全地区	40	H11
	飯島町	山ノ田水道水源保全地区	118	H11
飯伊	飯田市	水荒沢水道水源保全地区	21	H5
		金七沢水道水源保全地区	157	H9
	阿智村	長九郎沢水道水源保全地区	67	H6
	平谷村	大松沢水道水源保全地区	40	H6
	根羽村	萁野水道水源保全地区	110	H7
	売木村	岩倉水道水源保全地区	32	H12
	天龍村	風吹山水道水源保全地区	15	H11
木曾	南木曾町	妻籠水道水源保全地区	85	H11
	木曾町	岩井ノ沢水道水源保全地区	84	H7
		桧尾水道水源保全地区	69	H8
	木祖村	塩沢水道水源保全地区	191	H7
	大桑村	木村沢水道水源保全地区	13	H9
		野尻水道水源保全地区	121	H12
松本	安曇野市	黒沢水道水源保全地区	161	H6
	筑北村	四阿屋水道水源保全地区	165	H7
大北	大町市	一津水道水源保全地区	112	H12
長野	長野市	大清水水道水源保全地区	23	H5
	長野市	左右水道水源保全地区	8	H10
	長野市	尾倉沢水道水源保全地区	83	H11
	長野市	下祖山水道水源保全地区	133	H13
	須坂市	豊丘水道水源保全地区	99	H5
	高山村	鞠子水道水源保全地区	174	H6
	高山村	屋知水道水源保全地区	145	H9
	高山村	防風沢水道水源保全地区	140	H13
	高山村	油久保水道水源保全地区	38	H18
小川村	桐山・鳥立水道水源保全地区	190	H7	
北信	山ノ内町	かつら・二ノ沢水道水源保全地区	31	H8
計	26市町村	40地区	3,703	

表2-4-6 生活環境の保全に関する項目の測定地点別水質測定結果（平成25年度）

（河川－1）

水系名	水域名	地点番号	環境基準点	測定地点名	類型	BOD(mg/ℓ)		pH	DO*(mg/ℓ)		SS*(mg/ℓ)		大腸菌群数*(MPN/100mℓ)		
						75%値	年平均値	最小値 ～最大値	最小値 ～最大値	年平均値	最小値 ～最大値	年平均値	最小値～最大値	年平均値	
信濃川	信濃川上流(千曲川)(1)	1	○	大芝橋(南牧村)	AA	0.5	0.6	7.7～ 9.0	9.0～12	10	<1～7	2	3.3×10 ² ～ 7.9×10³	1.6×10 ³	
	信濃川上流(千曲川)(2)	2	○	白田橋(佐久市)	A	0.5	0.5	7.9～ 8.6	9.1～12	10	1～7	2	1.7×10 ² ～ 7.9×10³	2.3×10 ³	
	信濃川上流(千曲川)(3)	3			生田(上田市)	A	1.2	1.1	6.3 ～7.1	7.7～13	10	2～10	5	2.3×10 ² ～ 1.3×10⁴	2.1×10 ³
		4	○		千曲橋(千曲市)	A	1.6	1.3	6.8～ 8.6	8.3～13	11	3～13	6	7.9×10 ² ～ 7.9×10³	2.6×10 ³
		5			屋島橋(長野市)	A	1.2	1.2	6.9～8.1	8.6～12	11	4～8	5	3.3×10 ² ～ 7.9×10³	2.5×10 ³
		6	○		立ヶ花橋(中野市)	A	1.7	1.3	6.5～7.5	7.8～12	9.8	4～22	10	3.3×10 ² ～ 7.9×10⁴	1.6×10 ⁴
		7	○		大関橋(飯山市)	A	2.0	1.6	6.8～7.7	7.5～12	9.8	4～22	13	2.3×10 ² ～ 3.3×10⁴	4.9×10 ³
		8			市川橋(飯山市)	A	1.9	2.0	7.4～8.2	7.5～12	9.7	4～ 29	15	7.0×10 ² ～ 1.7×10⁵	2.6×10 ⁴
	相木川	9	○		除ヶ下橋(小海町)	AA	0.5	0.6	8.0～ 9.3	8.7～12	10	<1～4	2	1.3×10² ～ 1.1×10⁴	2.6×10 ³
	湯川	12	○		高瀬橋(佐久市)	A	1.0	1.0	7.8～ 8.7	7.4 ～13	11	1～13	6	7.0×10 ² ～ 3.5×10⁴	1.0×10 ⁴
	鹿曲川	13	○		前田橋(東御市)	AA	0.8	0.7	7.5～ 8.7	8.5～13	10	<1～10	4	1.3×10² ～ 7.9×10⁴	9.1×10 ³
	依田川	14			立岩上の橋(長和町)	A	<0.5	0.5	7.8～8.3	9.0～13	11	<1～6	2	7.9×10 ² ～ 2.4×10⁴	2.6×10 ³
		15	○		依田橋(上田市)	A	0.7	0.6	7.8～ 8.7	9.2～13	11	<1～4	2	2.2×10 ² ～ 4.9×10³	1.5×10 ³
	神川	16			白山真田橋(上田市)	A	1.0	0.8	7.5～8.5	8.6～12	11	<1～10	4	7.9×10 ² ～ 1.8×10⁴	2.4×10 ³
		17	○		神川橋(上田市)	A	0.9	0.7	7.5～8.4	8.9～14	11	<1～12	6	1.3×10³ ～ 1.4×10⁵	1.8×10 ⁴
	浦野川	18	○		対影橋(上田市)	A	1.2	1.1	6.8～8.1	7.6～13	11	2～ 59	15	7.9×10 ² ～ 6.3×10⁴	1.6×10 ⁴
	鳥居川	21			鳥居橋(信濃町)	A	0.9	0.9	7.2～8.1	8.9～12	11	1～7	2	3.3×10 ² ～ 2.4×10⁴	2.5×10 ³
		22	○		鳥居橋(長野市)	A	1.0	0.9	8.0～ 9.1	9.3～15	12	<1～9	4	4.3×10 ² ～ 9.3×10⁴	1.7×10 ⁴
	夜間瀬川	23			天川橋(山ノ内町)	A	0.6	0.6	7.0～7.8	7.9～12	9.7	6～ 42	13	3.3×10 ² ～ 1.3×10⁴	2.3×10 ³
		24	○		夜間瀬橋(山ノ内町)	A	1.1	0.9	7.2～7.9	7.8～12	9.7	2～24	8	1.1×10³ ～ 7.9×10⁴	1.8×10 ⁴
	樽川	25	○		戸那子橋(飯山市)	A	1.5	1.4	7.4～8.0	7.3 ～12	10	3～ 47	13	1.7×10³ ～ 4.9×10⁵	6.7×10 ⁴
	犀川(1)	26	○		島々谷川合流点上(松本市)	AA	<0.5	0.5	7.2～8.4	9.5～12	11	<1～11	2	0.0～ 1.1×10³	1.8×10 ²
	犀川(2)	28	○		倭橋(松本市)	A	0.6	0.6	6.6～7.1	9.2～13	11	1～10	3	0.0～4.9×10 ²	8.2×10
	犀川(3)	29	○		田沢橋(安曇野市)	A	1.9	1.4	6.2 ～7.0	8.7～13	10	2～10	4	1.7×10 ² ～ 7.9×10³	1.4×10 ³
		30	○		陸橋(生坂村)	A	0.9	0.8	6.3 ～7.1	8.7～11	9.9	3～9	5	2.3×10 ² ～ 7.9×10³	1.5×10 ³
		31	○		小市橋(長野市)	A	0.9	0.7	6.6～8.0	9.3～13	11	2～18	7	3.3×10 ² ～ 4.9×10³	1.2×10 ³

* DO→p.190、SS→p.187、大腸菌群数→p.189

(河川-2)

水系名	水域名	地点番号	環境基準点	測地点名	類型	BOD(mg/ℓ)		pH	DO(mg/ℓ)		SS(mg/ℓ)		大腸菌群数(MPN/100mℓ)	
						75%値	年平均値	最小値 ~最大値	最小値 ~最大値	年平均値	最小値 ~最大値	年平均値	最小値~最大値	年平均値
信濃川	奈良井川(1)	32	○	太田橋 (塩尻市)	A	0.5	0.6	7.7~ 8.6	9.0~14	11	<1~9	2	2.3×10 ² ~ 3.3×10³	7.3×10 ²
	奈良井川(2)	33	○	島橋 (松本市)	A	2.1	2.2	6.0 ~7.2	8.6~10	9.4	2~ 29	7	1.3×10 ² ~ 2.3×10⁴	3.2×10 ³
	鎖川	34	○	鎖川橋 (松本市)	A	1.2	1.1	7.6~ 9.0	9.0~14	11	1~22	6	1.8×10 ² ~ 1.0×10⁴	4.0×10 ³
	田川	35		水神橋 (塩尻市)	A	1.0	0.8	7.6~ 8.8	8.8~12	11	<1~11	3	2.4×10 ² ~ 2.4×10⁴	6.4×10 ³
		36	○	新田川橋 (松本市)	A	0.8	0.7	7.3~8.1	8.9~12	10	1~13	6	2.8×10 ² ~ 1.2×10⁴	3.4×10 ³
	穂高川	37	○	早春賦歌碑前 (安曇野市)	AA	1.1	0.9	7.6~8.5	8.9~12	10	1~5	3	3.3×10³ ~ 4.6×10⁴	1.6×10 ⁴
	高瀬川(1)	38	○	鹿島川合流点上 (大町市)	AA	0.6	0.6	7.1~ 9.0	8.5~12	11	<1~16	6	1.7×10 ² ~ 2.4×10³	3.0×10 ²
	高瀬川(2)	39	○	高瀬橋 (安曇野市)	A	1.2	1.0	7.2~8.1	8.3~11	9.6	<1~11	4	3.3×10 ² ~ 4.9×10³	1.3×10 ³
	麻績川	41	○	込路橋 (生坂村)	A	1.0	0.8	7.7~ 8.6	8.2~14	10	<1~6	3	1.2×10 ² ~ 3.3×10⁴	7.4×10 ³
	裾花川	42		参宮橋 (長野市)	A	<0.5	0.5	7.4~8.2	8.0~12	9.6	1~13	5	2.1×10 ² ~ 6.5×10³	2.8×10 ³
43		○	相生橋 (長野市)	A	1.2	0.9	8.1~ 9.7	8.9~15	12	<1~ 90	15	4.3×10 ² ~ 1.5×10⁵	2.3×10 ⁴	
諏訪湖水域	天竜川	44	○	釜口水門 (岡谷市)	B	2.6	2.8	6.7~ 9.1	6.5~13	9.6	1~23	9	2.8×10 ² ~1.9×10 ⁴	5.6×10 ³
		45	○	天白橋 (岡谷市)	B	3.5	3.2	7.2~ 8.9	7.8~14	10	1~20	10	6.4×10 ² ~ 2.4×10⁴	4.6×10 ³
天竜川	天竜川(1)	46	○	新樋橋 (辰野町)	B	2.2	2.0	7.7~ 9.1	8.5~13	10	2~11	7	1.3×10 ² ~ 2.2×10⁴	3.7×10 ³
		47		中央橋 (伊那市)	B	1.9	1.7	7.7~ 8.7	8.4~13	10	2~10	7	3.3×10 ² ~ 2.2×10⁴	6.1×10 ³
	天竜川(2)	48	○	吉瀬ダム上 (駒ヶ根市)	A	1.6	1.3	7.6~ 8.7	8.4~12	10	2~ 28	8	2.4×10 ² ~ 1.1×10⁴	3.0×10 ³
	天竜川(3)	49		宮ヶ瀬橋 (松川町)	A	1.6	1.2	7.5~8.1	8.8~13	10	2~21	7	3.3×10 ² ~ 7.9×10³	2.9×10 ³
		50		阿島橋 (飯田市)	A	1.5	1.2	7.5~ 8.7	9.0~13	11	2~25	7	1.7×10 ² ~ 7.0×10³	2.6×10 ³
		51		天竜橋 (飯田市)	A	1.8	1.4	7.4~8.5	8.9~13	11	1~ 75	12	7.9×10 ² ~ 1.3×10⁴	3.3×10 ³
		52	○	つつじ橋 (飯田市)	A	1.6	1.4	7.4~8.3	8.7~13	10	2~ 69	12	7.9×10 ² ~ 7.9×10³	2.7×10 ³
	53		南宮橋 (阿南町)	A	1.7	1.4	7.5~7.9	8.6~13	10	1~20	8	1.3×10 ² ~ 2.4×10⁴	4.5×10 ³	
	横川川	54	○	中央橋 (辰野町)	AA	0.6	0.6	7.2~7.8	8.4~13	11	<1~3	1	4.9×10² ~ 1.3×10⁴	4.0×10 ³
	三峰川	55	○	竜東橋 (伊那市)	A	0.9	0.8	7.8~ 9.2	8.5~13	11	<1~8	3	1.1×10 ² ~ 1.4×10⁴	1.6×10 ³
小波川	57		鹿塩川合流点上 (大鹿村)	AA	<0.5	0.6	8.0~ 9.1	8.0~12	10	<1~ 42	9	2.1×10 ² ~ 7.9×10²	1.6×10 ²	
	58	○	小波ダム (中川村)	AA	1.5	1.0	7.4~ 8.9	8.4~11	10	1~18	7	1.0~ 1.1×10³	2.0×10 ²	
松川(1)	59	○	妙琴橋 (飯田市)	AA	<0.5	0.6	7.0~8.0	9.1~13	11	<1~9	2	4.0~ 2.8×10³	6.3×10 ²	
松川(2)	60	○	永代橋 (飯田市)	A	0.7	0.7	7.1~7.9	8.3~13	10	<1~ 38	5	1.7×10³ ~ 4.9×10⁴	1.5×10 ⁴	

(河川-3)

水系名	水域名	地点番号	環境基準地点	測定地点名	類型	BOD(mg/ℓ)		pH		DO(mg/ℓ)		SS(mg/ℓ)		大腸菌群数(MPN/100mℓ)	
						75%値	年平均値	最小値 ~最大値	年平均値	最小値 ~最大値	年平均値	最小値 ~最大値	年平均値	最小値~最大値	年平均値
天竜川	阿智川	61	○	万才大橋下 (飯田市)	AA	0.5	0.5	7.2~7.7	9.5~13	11	1~ <u>30</u>	6	<u>3.3×10²</u> ~ <u>7.9×10³</u>	1.9×10 ³	
	和知野川	62	○	和知野川沓場 (天龍村)	AA	<0.5	0.5	6.8~7.6	9.6~14	11	<1~19	4	<u>2.2×10²</u> ~ <u>1.3×10⁴</u>	2.3×10 ³	
	遠山川	63	○	折立橋 (天龍村)	AA	<0.5	0.5	7.8~ <u>8.7</u>	9.7~13	11	<1~ <u>36</u>	8	3.3×10 ² ~ <u>4.9×10²</u>	2.1×10 ²	
諏訪湖水域	宮川	64		西茅野大橋 (茅野市)	A	0.6	0.8	7.1~ <u>8.8</u>	8.9~14	11	<1~9	3	2.3×10 ² ~ <u>3.3×10⁴</u>	6.5×10 ³	
		65	○	宮川橋 (諏訪市)	A	1.5	1.1	7.2~8.3	8.3~14	11	<1~20	6	2.6×10 ² ~ <u>6.4×10⁴</u>	7.8×10 ³	
	上川	66		矢ヶ崎橋 (茅野市)	A	0.8	0.8	7.4~8.0	9.1~13	10	1~5	3	3.3×10 ² ~ <u>1.7×10⁴</u>	3.7×10 ³	
		67	○	渋崎橋 (諏訪市)	A	0.9	0.7	7.1~7.8	7.5~14	11	<1~9	3	2.0×10 ² ~ <u>1.0×10⁴</u>	3.2×10 ³	
	砥川	68	○	鷹の橋 (下諏訪町)	A	0.5	0.6	7.3~7.8	9.4~13	11	1~9	3	2.3×10 ² ~ <u>4.9×10³</u>	7.2×10 ²	
	横河川	69	○	よこかわ川橋 (岡谷市)	A	0.7	0.7	7.3~8.3	8.9~13	11	<1~14	4	1.3×10 ² ~ <u>3.3×10⁴</u>	7.4×10 ³	
木曾川	木曾川	70		新菅橋 (木祖村)	AA	0.5	0.5	7.6~8.5	8.1~12	10	<1~1	1	2.3×10 ² ~ <u>4.9×10³</u>	6.8×10 ²	
		71		小川橋 (上松町)	AA	0.7	0.6	7.9~ <u>8.8</u>	9.5~13	11	<1~2	1	<u>1.3×10²</u> ~ <u>2.4×10³</u>	8.5×10 ²	
		72		三根橋 (南木曾町)	AA	0.6	0.6	7.3~ <u>8.8</u>	9.1~14	11	<1~1	1	3.3×10 ² ~ <u>2.2×10³</u>	5.9×10 ²	
	王滝川	73	○	桑原 (木曾町)	AA	0.7	0.7	7.0~8.3	8.9~13	11	<1~6	1	4.0~ <u>3.3×10³</u>	4.9×10 ²	
富士川	富士川(1) (釜無川)	76		武智川合流点上 (富士見町)	AA	<0.5	0.6	7.6~8.4	9.1~14	11	<1~6	2	1.3×10 ² ~ <u>1.3×10³</u>	1.8×10 ²	
矢作川	矢作川	77	○	桃田橋 (根羽村)	AA	<0.5	0.5	7.1~7.9	8.3~13	10	<1~16	2	2.6×10 ² ~ <u>7.9×10³</u>	1.3×10 ³	
姫川	姫川(1)	78		天神宮橋 (白馬村)	A	0.9	0.8	7.7~8.1	8.6~12	10	<1~7	3	4.9×10 ² ~ <u>1.3×10⁵</u>	1.4×10 ⁴	
		79	○	宮本橋 (小谷村)	A	0.8	0.7	7.6~8.3	8.4~13	10	<1~ <u>130</u>	13	1.3×10 ² ~ <u>1.3×10⁴</u>	3.8×10 ³	
信濃川	中津川上流	80		切明 (栄村)	AA	<0.5	<0.5	7.0~8.4	8.5~12	9.6	<1~4	2	0~ <u>1.7×10³</u>	3.3×10 ²	

環境基準 達成状況	BOD			
	類型	基準値	測定地点数	基準達成地点数
	AA	1mg/ℓ	20	18
	A	2mg/ℓ	47	46
	B	3mg/ℓ	4	3
計		71	67	
達成率			94.4%	

注) 下線は環境基準値を越える値(pHは環境基準値の範囲外の値)であることを示す。

(水大気環境課調べ)

(湖 沼)

水系名	水域名	地点番号	環境基準点	測 定 点 名	類 型	COD(mg/ℓ)		pH		DO(mg/ℓ)		SS(mg/ℓ)		大腸菌群数 (MPN/100mℓ)		全窒素 (mg/ℓ) 年平均值	全 磷 (mg/ℓ) 年平均值
						75%値	年 平均値	最小値 ~最大値	最小値 ~最大値	年 平均値	最小値 ~最大値	年 平均値	最小値 ~最大値	年 平均値			
信濃川(千曲川)	猪名湖	81	○	流出部 (小海町)	A	3.0	2.7	7.6~8.5	8.3~10	9.1	1~7	3	3.3×10 ² ~ 1.1×10³	4.3×10 ²			
	女神湖	82	○	流出部 (立科町)	A	3.9	3.6	7.6~8.3	7.3 ~10	8.6	2~7	4	7.0 ~ 1.7×10 ²	8.9×10			
	大座法師池	83	○	流出部 (長野市)	A	4.2	3.6	8.0~8.5	7.0 ~11	8.9	<1~2	1	3.0 ~ 9.3×10³	2.7×10 ³			
	丸池	84	○	流出部 (山ノ内町)	A	1.3	1.1	7.8~8.5	8.2~10	9.4	1~4	2	1.3×10 ² ~ 7.9×10³	1.6×10 ³			
	琵琶池	85	○	流出部 (山ノ内町)	A	2.4	2.1	7.8~ 9.3	9.1~11	10	1~7	4	6.0 ~ 1.3×10³	2.5×10 ²			
信濃川(犀川)	みどり湖	86	○	流出部 (塩尻市)	A	3.4	2.9	7.2~ 8.9	7.1~12	9.5	1~ 10	5	1.7×10 ² ~ 1.3×10⁴	5.0×10 ³			
	美鈴湖	87	○	流出部 (松本市)	A	3.1	2.9	7.5~ 8.7	8.1~10	9.0	1~3	2	2.0 ~ 7.9×10²	2.8×10 ²			
	青木湖	88	○	流出部 (大町市)	AA (I)	1.2	1.1	6.7~8.0	8.7~12	10	<1~ 3	1	1.1×10 ~ 3.3×10³	5.9×10 ²		0.006	
	中綱湖	89	○	流出部 (大町市)	AA (II)	1.4	1.3	7.0~ 8.6	8.7~11	10	<1~1	1	2.2×10 ~ 7.9×10³	1.6×10 ³		0.009	
	木崎湖 (大町市)			(環境基準点1地点)	AA (II)	2.3	1.9	7.5~ 8.9	8.3~12	9.9	<1~ 3	1	1.3×10 ~ 3.3×10⁴	4.0×10 ³		0.013	
			(測定2地点)	AA (II)	2.3 ~ 3.2	2.1	7.3~ 8.9	4.5 ~12	8.3	<1~ 3	1	1.3×10 ~ 3.3×10⁴	3.3×10 ³		0.005 ~ 0.013		
	90		湖 心 (大町市)	AA (II)	3.2	2.3	7.3~8.2	4.5 ~12	6.6	1~ 3	1	2.0×10 ~ 9.0×10³	2.5×10 ³		0.005		
	91	○	流出部 (大町市)	AA (II)	2.3	1.9	7.5~ 8.9	8.3~12	9.9	<1~ 3	1	1.3×10 ~ 3.3×10⁴	4.0×10 ³		0.013		
天竜川(諏訪湖水域)	諏訪湖			(環境基準点3地点)	A (IV)	6.4 ~ 7.5	5.9	7.2~ 9.6	5.5 ~13	9.3	4~ 27	13	2.3×10 ~ 7.8×10⁴	1.3×10 ⁴	0.77 ~ 0.94	0.055 ~ 0.062	
		92	○	湖 心	A (IV)	6.4	5.5	7.5~ 9.3	5.5 ~12	8.5	4~ 27	11	2.3×10 ~ 4.3×10⁴	1.0×10 ⁴	0.77	0.055	
		93	○	初島西 (諏訪市)	A (IV)	7.5	6.5	7.5~ 9.6	7.2 ~13	10	6~ 25	16	1.2×10 ² ~ 5.4×10⁴	1.2×10 ⁴	0.94	0.062	
		94	○	塚間川沖200m (岡谷市)	A (IV)	7.2	5.8	7.2~ 9.6	6.3 ~13	9.4	4~ 23	11	4.2×10 ~ 7.8×10⁴	1.7×10 ⁴	0.84	0.060	
	白樺湖	95	○	流出部 (茅野市)	A	3.1	2.9	7.0~7.8	7.0 ~12	8.8	<1~ 8	3	2.0 ~ 2.4×10 ²	5.7×10			
蓼科湖	96	○	流出部 (茅野市)	A	2.9	2.3	7.8~ 9.5	11~14	12	1~7	3	2.0 ~ 2.2×10 ²	6.3×10				
関川	野尻湖 (信濃町)			(環境基準点2地点)	AA (I)	2.1 ~ 2.4	2.0	7.4~ 8.6	5.9 ~12	9.3	<1~1	1	2.0 ~ 3.7×10³	6.1×10 ²		0.005	
				(測定3地点)	AA (I)	2.1 ~ 2.4	2.0	7.4~ 8.6	5.9 ~12	9.3	<1~1	1	2.0 ~ 3.7×10³	5.2×10 ²		0.005 ~ 0.006	
		97		水 穴 (信濃町)	AA (I)	2.2	2.0	7.4~8.5	7.7~12	9.5	<1~1	1	2.0 ~ 2.7×10³	3.5×10 ²		0.006	
		98	○	弁天島西 (信濃町)	AA (I)	2.4	2.1	7.5~ 8.6	7.9~12	9.8	<1~1	1	4.0 ~ 3.7×10³	7.5×10 ²		0.005	
		99	○	湖 心 (信濃町)	AA (I)	2.1	1.9	7.4~8.0	5.9 ~12	8.7	<1~1	1	2.0 ~ 2.8×10³	4.7×10 ²		0.005	
木曾川	味噌川ダム	101	○	基準地点 (木祖村)	A (II)	0.8	0.7	7.4~7.7	8.4~11	9.2	<1~2	1	0.0 ~ 1.0×10 ³	1.1×10 ²		0.003	

環境基準達成状況 (注3)	COD				全 窒 素				全 磷			
	類型	基準値	測 定 湖 沼 数	基準達成 湖 沼 数	類型	基準値	測 定 湖 沼 数	基準達成 湖 沼 数	類型	基準値	測 定 湖 沼 数	基準達成 湖 沼 数
	AA	1mg/ℓ	4	0	IV	0.6mg/ℓ	1	0	I	0.005mg/ℓ	2	1
	A	3mg/ℓ	11	5					II	0.01mg/ℓ	3	2
	計		15	5	計		1	0	IV	0.05mg/ℓ	1	0
	達成率		33.3%		達成率		0.0%		計		6	3
									達成率			50.0%

- 注) 1 下線は環境基準値を超える値(pHは環境基準値の範囲外の値)であることを示す。
 2 複数の地点で測定している湖沼の年平均値とは、各測定地点の年平均値の平均値を示す。
 3 複数の地点で測定している湖沼の環境基準の達成状況の調査は、当該湖沼の全ての環境基準点において環境基準に適合している場合に、環境基準を達成していることとする。(水大気環境課調べ)

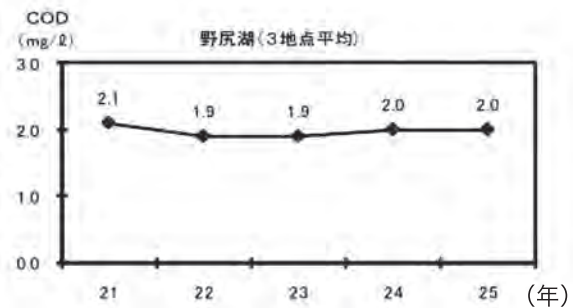
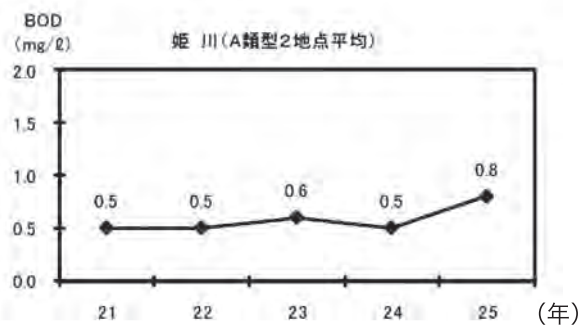
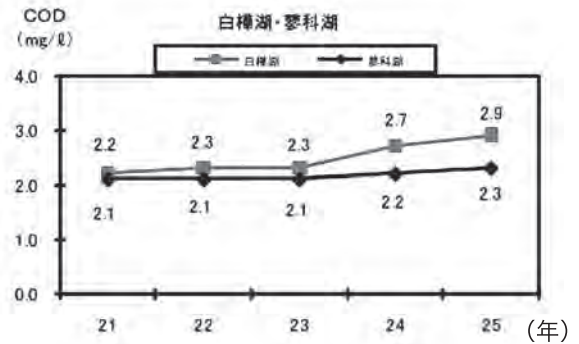
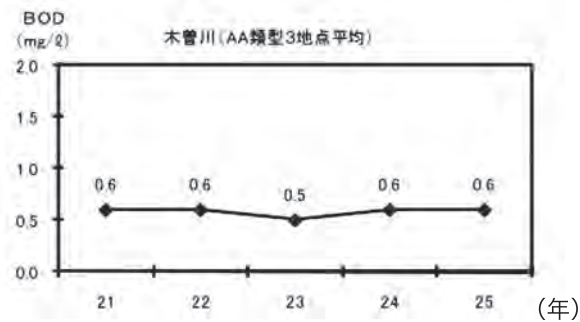
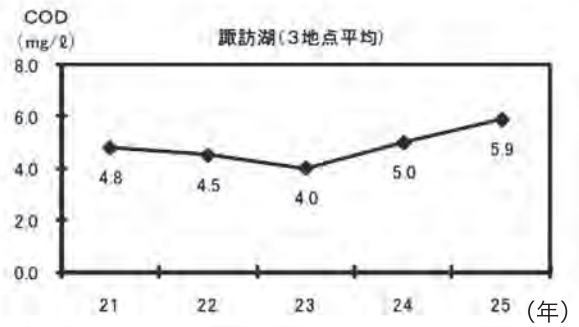
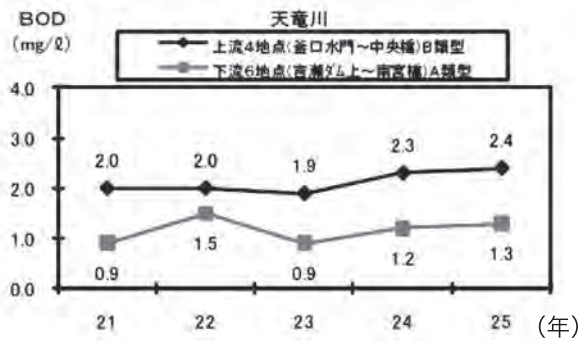
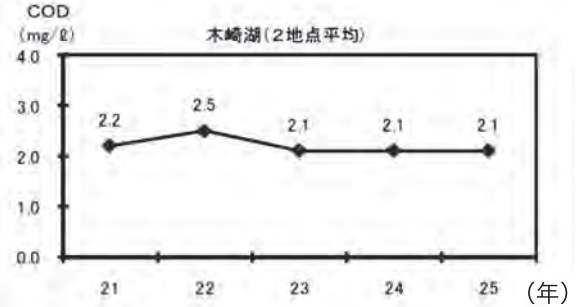
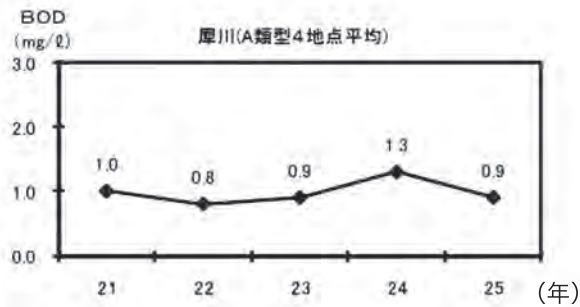
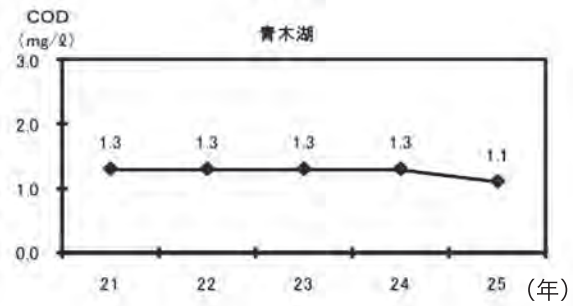
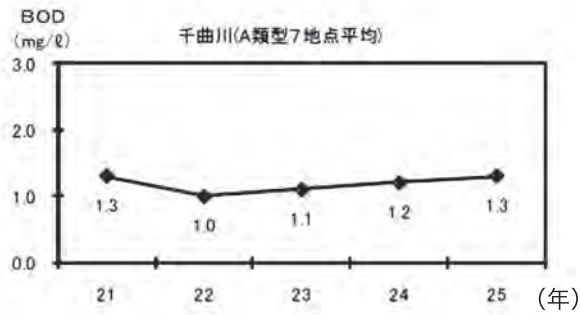
図2-4-6 主要河川・湖沼の水質汚濁の状況（河川：BOD 湖沼：COD）（平成25年度）



注) 水域類型ごとに環境基準点のBOD (COD) の値で評価し、水域類型に複数の環境基準点がある場合には、それぞれの75%値の平均値で評価している。

(水大気環境課調べ)

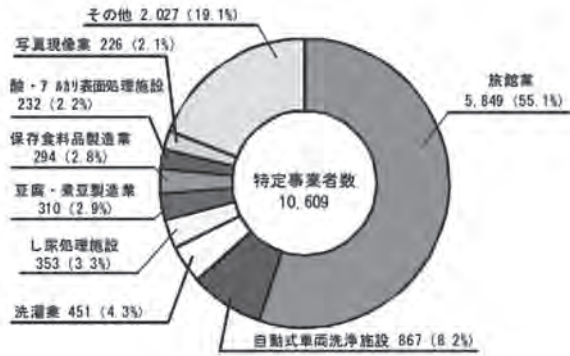
図2-4-7 主な水域のBOD・CODの年間平均値の推移



注) 一つの水域に複数の基準点がある場合は、それらの平均値を算出してグラフ化している。

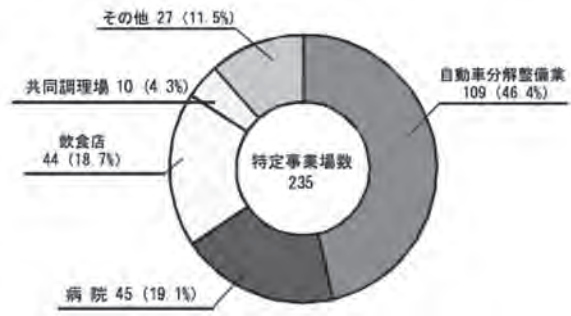
(水大気環境課調べ)

図2-4-11 水質汚濁防止法に基づく特定事業場届出状況 (平成26年3月31日現在)



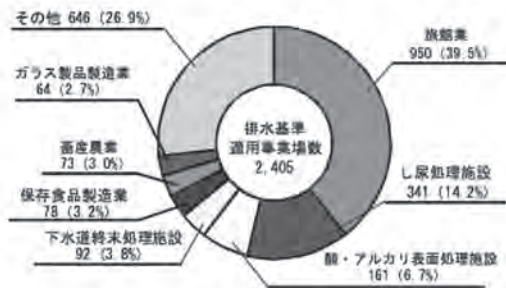
(注) 長野市及び松本市は除外 (水質汚濁防止法の政令市であるため)
(水大気環境課調べ)

図2-4-12 公害の防止に関する条例に基づく特定事業場届出状況 (平成26年3月31日現在)



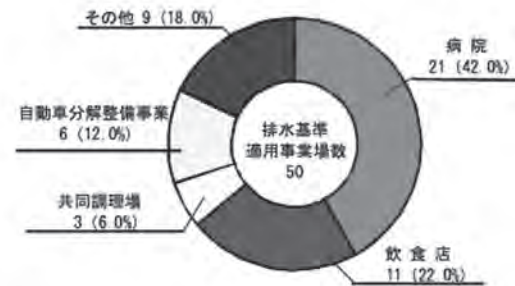
(水大気環境課調べ)

図2-4-13 水質汚濁防止法に基づく排水基準適用事業場 (平成26年3月31日現在)



(水大気環境課調べ)

図2-4-14 公害の防止に関する条例に基づく排水基準適用事業場 (平成26年3月31日現在)



(水大気環境課調べ)

表2-4-8 立入検査実施状況 (平成25年度)

区分	対象事業場数	立入検査実施数	改善指導数
水質汚濁防止法及び湖沼水質保全特別措置法に基づく特定事業場	10,609	1,220	231
公害の防止に関する条例に基づく特定事業場	235	40	6
計	10,844	1,260	237

(水大気環境課調べ)

表2-4-9 検査項目別改善指導数 (文書によるもの)

検査項目		不適事項数
排水基準項目	鉛	0
	ジクロロメタン	1
	ふっ素	1
	アンモニア	1
	その他の有害物質	0
生活環境項目	pH	16
	BOD(COD)	23
	SS	5
	銅含有量	0
	大腸菌群数	15
	燐含有量	2
	その他の生活環境項目	6
小計	62 (のべ70) *	
特定施設の改善指導等	114	
合計	176	

※複数の水質項目で基準超過のケースあり

(水大気環境課調べ)

表2-4-10 概況調査環境基準超過状況（平成25年度）

物質名	調査地点数	基準超過	濃度範囲 (mg/l)	環境基準 (mg/l)
鉛	66	1	<0.005~0.016	0.01
砒素	66	1	<0.005~0.018	0.01
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	66	3	0.06~22	10
ほう素	66	2	<0.02~2.3	1

(水大気環境課調べ)

表2-4-11 概況調査環境基準超過状況の推移

物質	年度	(地点数)				
		21	22	23	24	25
鉛		0	0	0	0	1
砒素		0	0	1	1	1
トリクロロエチレン		0	0	1	0	0
テトラクロロエチレン		0	0	0	1	0
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素		2	1	1	0	3
ふっ素		0	1	1	0	0
ほう素		0	0	1	0	2

(水大気環境課調べ)

表2-4-12 汚染井戸周辺地区調査環境基準超過状況（平成25年度）

物質名	調査地点数	基準超過	濃度範囲 (mg/l)	環境基準 (mg/l)
トリクロロエチレン	1(11)	1(1)	<0.002~0.053	0.03
テトラクロロエチレン	1(11)	1(2)	<0.0005~0.16	0.01

(注) () 内は調査井戸数を示す。(水大気環境課調べ)

表2-4-13 継続監視調査環境基準超過状況（平成25年度）

物質名	調査地点数	基準超過	濃度範囲 (mg/l)	環境基準 (mg/l)
砒素	4(7)	4(6)	0.009~0.13	0.01
1,2-ジクロロエチレン	34(57)	1(2)	<0.004~0.25	0.04
トリクロロエチレン	34(57)	6(7)	<0.002~0.13	0.03
テトラクロロエチレン	34(57)	14(19)	<0.0005~0.36	0.01
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	60(98)	34(41)	0.59~44	10
ふっ素	4(7)	3(4)	<0.08~2.8	0.8
ほう素	1(2)	1(1)	0.81~1.1	1

(注) () 内は井戸数を示す。(水大気環境課調べ)

表2-4-14 水道水源ダム湖の水質（9ダム湖、5項目）

(平成25年度)

No	ダム湖名	COD (mg/l)		全窒素 (mg/l)		全リン (mg/l)		クロロフィルa (μg/l)		透明度 (m)	
		目標 (以下)	平均	目標 (以下)	平均	目標 (以下)	平均	目標 (以下)	超過回数	目標 (以下)	平均
1	菅平ダム湖 (上田市)	3	4.8	2	2.4	0.1	0.15	40	2/7	1	1.6
2	内村ダム湖 (上田市)	3	2.5	0.4	0.45	0.03	0.012	10	0/7	2	3.9
3	箕輪ダム湖 (箕輪町)	2	2.7	0.6	0.60	0.01	0.016	3	0/7	4	4.1
4	片桐ダム湖 (松川町)	2	1.6	0.4	0.15	0.01	0.008	3	1/7	4	3.6
5	松川ダム湖 (飯田市)	2	1.8	0.4	0.23	0.02	0.010	3	2/7	2	3.0
6	奈良井ダム湖 (塩尻市)	2	1.6	0.3	0.17	0.02	0.013	20	0/6	2	3.2
7	裾花ダム湖 (長野市)	3	2.9	0.4	0.39	0.03	0.031	20	2/5	1	1.1
8	奥裾花ダム湖 (長野市)	2	1.9	0.2	0.14	0.02	0.016	20	0/7	1	1.5
9	豊丘ダム湖 (須坂市)	1	0.81	0.2	0.20	0.005	0.004	1	0/7	6	6.6

(注) 1 網掛けは水質保全目標値を達成しなかったもの
 2 測定期間は植物プランクトンの発生時期である春期（4月）～秋季（10月）
 3 水質測定結果は湖心の表層の値
 4 各項目はクロロフィルaを除き、年平均値で評価
 5 クロロフィルaは年間の値について、目標値超過検体数/総検体数で評価 (水大気環境課調べ)

表2-4-17 平成25年度末汚水処理人口普及率（下水道、農業集落排水施設等、浄化槽）

種別 市町村名	普及率 (%)				市町村名	普及率 (%)				市町村名	普及率 (%)			
	下水道	農業排	浄化槽 エプラー	計		下水道	農業排	浄化槽 エプラー	計		下水道	農業排	浄化槽 エプラー	計
長野市	91.9	2.3	2.1	96.2	御代田町	84.8	3.7	7.6	96.1	上松町	70.1		12.6	82.7
松本市	96.4	0.5	2.8	99.7	立科町	45.3	45.4	7.0	97.7	南木曾町	7.5	16.6	54.9	79.0
上田市	80.2	16.9	1.9	99.0	青木村	89.0		8.7	97.7	木祖村	64.7	11.3	19.2	95.2
岡谷市	99.4		0.4	99.7	長和町	88.9	1.0	5.8	95.7	王滝村		85.8	13.4	99.2
飯田市	82.6	6.1	7.8	96.5	下諏訪町	99.9		0.0	99.9	大桑村	33.8	44.3	17.7	95.8
諏訪市	98.6		0.4	99.0	富士見町	68.1	25.3	3.1	96.5	木曾町	68.4	10.8	15.1	94.3
須坂市	91.8	5.4	0.5	97.7	原村	79.5		14.3	93.7	麻績村	68.9	15.6	13.8	98.4
小諸市	65.7	18.6	11.7	96.0	辰野町	88.3	8.8	2.2	99.3	生坂村		49.1	37.3	86.4
伊那市	67.7	16.6	5.8	90.0	箕輪町	73.5	24.0	1.9	99.3	山形村	100.0		0.0	100.0
駒ヶ根市	57.6	34.1	2.9	94.6	飯島町	56.5	19.6	19.4	95.5	朝日村	100.0			100.0
中野市	67.3	27.1	1.3	95.7	南箕輪村	98.2		1.6	99.8	筑北村		56.6	32.7	89.4
大町市	72.5	3.5	15.8	91.7	中川村	56.4	25.4	14.2	96.0	池田町	94.3		3.8	98.1
飯山市	72.8	25.4	0.8	98.9	宮田村	74.2	24.8		100.0	松川村	99.0		0.4	99.4
茅野市	96.7		2.4	99.0	松川町	41.7	42.7	12.5	96.9	白馬村	71.8	4.5	18.8	95.2
塩尻市	89.4	9.7	0.7	99.8	高森町	53.6	36.1	9.1	98.8	小谷村	10.7	24.7	40.0	75.4
佐久市	67.5	11.3	17.9	96.7	阿南町		53.8	33.3	87.0	坂城町	70.7		14.1	84.8
千曲市	91.7	7.9	0.3	99.9	阿智村	46.0	16.2	27.6	89.7	小布施町	79.7	20.3		100.0
東御市	62.0	28.3	9.4	99.8	平谷村		91.3	2.9	94.2	高山村	47.6	50.2	1.1	99.0
安曇野市	87.0	3.1	4.9	95.0	根羽村		72.1	22.8	94.9	山ノ内町	68.5	26.1	4.5	99.0
小海町	63.0	11.2	22.5	96.8	下條村			95.0	95.0	木島平村	95.1	3.3	1.6	100.0
川上村	48.1	50.4	1.2	99.8	売木村		65.9	30.0	96.0	野沢温泉村	76.1	23.9		100.0
南牧村	24.2	8.7	67.1	99.9	天龍村	61.0		28.2	89.2	信濃町	42.6	26.6	16.8	85.9
南相木村			91.7	91.7	泰阜村			68.0	68.0	小川村	70.2	9.7	9.9	89.7
北相木村			94.4	94.4	喬木村	53.3	24.0	18.5	95.8	飯綱町	54.6	38.8	4.3	97.7
佐久穂町	78.5	13.7	6.7	99.0	豊丘村	50.2	31.1	17.8	99.1	栄村		9.7	70.2	79.9
軽井沢町	50.1	3.3	26.5	79.8	大鹿村			48.6	48.6	長野県計	81.5	9.6	5.8	96.8

注) 1 普及率は、個々の種別の普及率で四捨五入しているため、合計が合わないことがある。

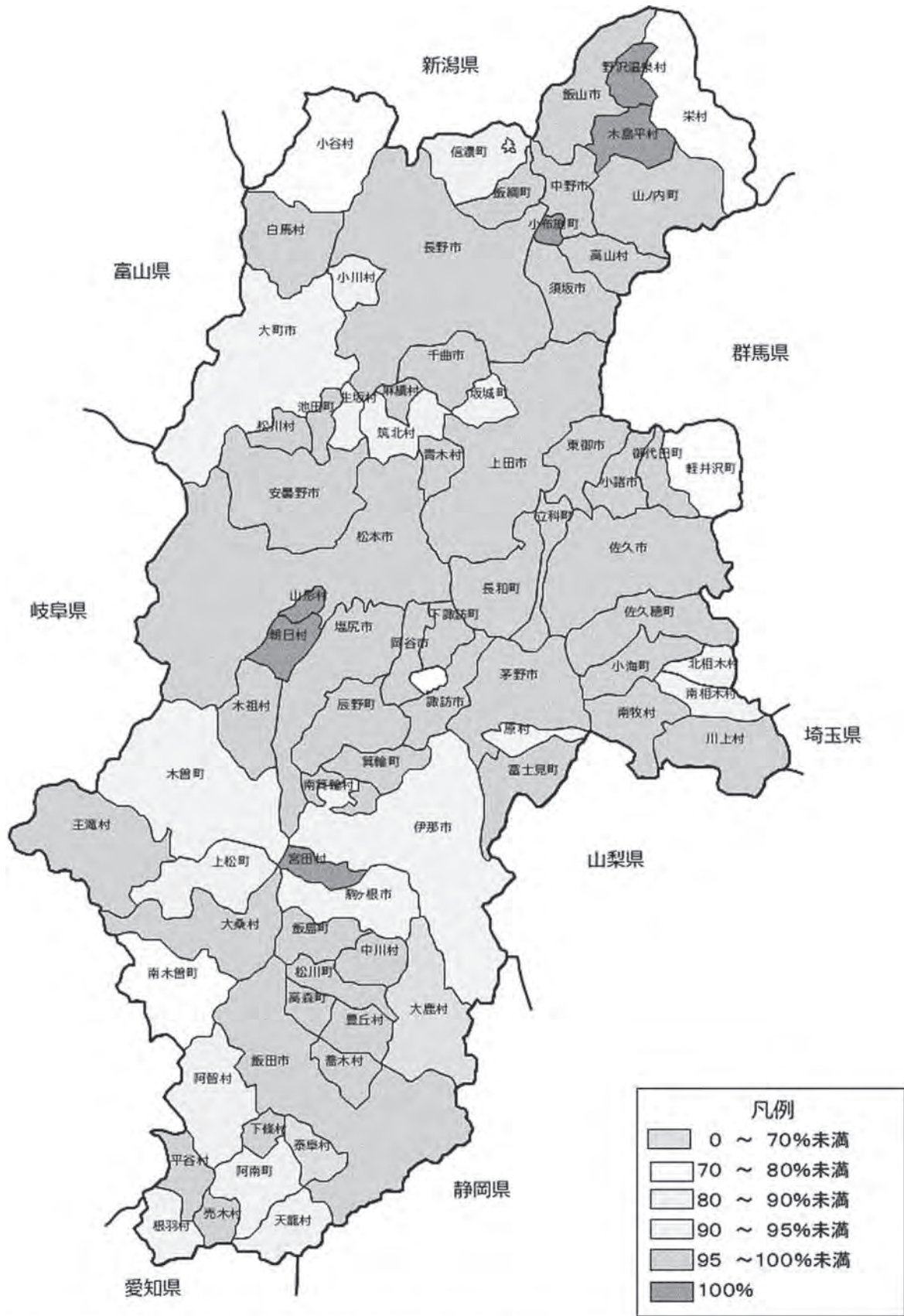
2 下水道及び農業集落排水施設等の網掛け部は、当該種別で汚水処理を行う予定のない市町村。

(参考) 汚水処理人口普及率の推移

年度末現在	H 8	H 9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
実施市町村数	120	120	120	120	120	120	120	118	111	81	81	81	80	77	77	77	77	77
供用開始市町村数	113	116	118	120	120	120	120	118	111	81	81	81	80	77	77	77	77	77
普及率 (%)	52.1	56.8	62.3	67.9	73.6	77.6	81.3	84.7	87.7	89.6	91.5	93.1	94.0	94.5	95.3	95.9	96.6	96.8
全国普及率 (%)	62.0	64.0	66.0	69.0	71.4	73.7	75.8	77.7	79.4	80.9	82.4	83.7	84.8	85.7	86.9	87.6	88.1	88.9
全国順位	19	18	14	12	10	9	8	8	8	8	8	6	6	7	7	7	5	5

※全国の汚水処理人口普及率（下水道普及率）は、平成8年度から国において集計、公表されている。

図2-4-17 平成25年度末県内市町村別汚水処理施設整備状況



※この指標は、公共下水道、農業集落排水施設等、浄化槽（合併処理浄化槽）及びコミュニティ・プラントの整備状況を普及率で示したものです。

資料

図2-4-19 せせらぎサイエンス調査結果（平成25年度）



図2-4-20 信州の名水・秘水及び長野県内の名水百選、平成の名水百選マップ



表2-4-19 信州の名水・秘水及び長野県内の名水百選、平成の名水百選一覧

信州の名水・秘水

地域	市町村名	番号	名称
佐久	川上村	①	千曲川源流
	御代田町	②	大沼の池の湧水
	御代田町	③	血ノ池と周辺湧水群と濁川
上伊那	飯島町	④	越百の水
下伊那	阿智村	⑤	一番清水
木曾	木曾町	⑥	御嶽山 三の池
	王滝村	⑦	御嶽神社里宮御神水
	大桑村	⑧	阿寺渓谷「美顔水」
松本	松本市	⑨	上高地 清水川
	塩尻市	⑩	平出の泉
北安曇	小谷村	⑪	雨筋山湧水
長野	長野市	⑫	お種池
	須坂市	⑬	豊丘の穴水
北信	中野市	⑭	谷蔵寺の井戸「延命水」
	栄村	⑮	北野天満温泉湧水

「名水百選」のうち県内分

地域	市町村名	番号	名称
下伊那	飯田市	⑯	猿摩の泉
松本	安曇野市	⑰	安曇野わさび田湧水群
北安曇	白馬村	⑱	姫川源流湧水

「平成の名水百選」のうち県内分

地域	市町村名	番号	名称
下伊那	飯田市	⑲	観音霊水
木曾	木祖村	⑳	木曾川源流の里 水木沢
松本	松本市	㉑	まつもと城下町湧水群
北信	木島平村	㉒	龍興寺清水

表2-4-30 有害大気汚染物質測定結果

(単位: $\mu\text{g}/\text{m}^3$)

分類	測定局	所在地	測定年度	ベンゼン	トリクロロエチレン	テトラクロロエチレン	ジクロロメタン	アクリロニトリル	塩化ビニルモノマー	クロロホルム	1,2-ジクロロエタン	1,3-ブタジエン	水銀及びその化合物	ニッケル化合物	ヒ素及びその化合物	マンガン及びその化合物
一般環境	上田局	上田市	H23	0.95	1.0	0.29	0.87	0.14	0.084	0.30	0.25	0.15	0.0020	<0.0020	0.00080	0.012
			H24	1.1	1.3	0.21	1.1	0.092	0.028	0.28	0.18	0.14	0.0023	0.0011	0.00034	0.0065
			H25	1.0	1.1	0.34	0.90	0.10	0.090	0.37	0.27	0.17	0.0021	0.0014	0.00077	0.014
	松本局	松本市	H23	0.82	0.42	0.28	1.5	0.086	0.016	0.16	0.15	0.094	0.0018	<0.0020	0.00063	0.0076
			H24	0.95	0.69	0.21	1.3	0.084	0.019	0.19	0.18	0.12	0.0020	0.00069	0.00032	0.0050
			H25	0.75	0.53	0.30	1.2	0.047	0.0079	0.18	0.14	0.085	0.0019	0.0016	0.00090	0.011
	諏訪局	諏訪市	H23	1.1	4.2	0.15	2.8	0.12	0.022	0.17	0.16	0.15	0.0017	<0.0020	0.00068	0.0091
			H24	0.95	2.6	0.14	2.5	0.084	0.017	0.17	0.16	0.12	0.0021	0.0013	0.00026	0.0035
			H25	0.86	2.5	0.11	2.0	0.089	0.013	0.24	0.17	0.12	0.0021	0.0019	0.0011	0.010
	伊那局	伊那市	H23	0.98	2.6	0.17	1.3	0.13	0.048	0.21	0.20	0.15	0.0023	<0.0020	0.00070	0.0092
			H24	1.0	2.0	0.10	1.0	0.075	0.012	0.17	0.17	0.14	0.0024	0.00067	0.00024	0.0040
			H25	0.85	0.80	0.15	0.95	0.073	0.035	0.25	0.21	0.12	0.0023	0.0018	0.00084	0.0087
	環境保全研究所局	長野市	H23	0.88	0.28	0.19	1.0	0.12	0.011	0.18	0.18	0.089	/	/	/	/
			H24	0.92	0.38	0.33	1.1	0.062	0.014	0.24	0.16	0.093	/	/	/	/
			H25	0.81	0.90	0.30	4.2	0.040	0.0086	0.21	0.17	0.081	/	/	/	/
篠ノ井局	長野市	H23	0.96	0.34	(0.13)	1.4	<0.030	<0.030	0.13	0.13	0.068	0.0016	0.0032	0.0012	/	
		H24	1.2	0.65	(0.16)	0.97	<0.060	<0.030	0.54	0.097	<0.060	0.0016	0.0029	0.00079	/	
		H25	1.6	0.70	(0.34)	0.93	(0.097)	<0.030	0.63	0.21	(0.060)	0.0014	0.0034	0.0014	/	
発生源周辺	岡谷局	岡谷市	H23	0.92	4.1	0.17	14	0.10	<0.030	0.16	0.16	0.13	/	/	/	/
			H24	0.91	3.4	0.14	13	0.070	<0.030	0.17	0.17	0.12	/	/	/	/
			H25	0.74	3.5	0.13	13	0.041	<0.030	0.20	0.17	0.10	/	/	/	/
沿道	松本市	松本市	H23	1.7	0.39	0.25	1.2	0.18	<0.030	0.21	0.17	0.31	/	/	/	/
			H24	1.6	0.58	0.39	3.0	0.17	<0.030	0.26	0.21	0.29	/	/	/	/
			H25	1.4	0.44	0.33	4.4	0.11	<0.030	0.35	0.25	0.30	/	/	/	/
	鍋屋田局	長野市	H23	1.3	(0.18)	<0.060	0.61	(0.038)	<0.030	0.18	0.11	0.10	0.0016	0.0030	0.00075	/
			H24	1.3	0.38	(0.15)	0.92	<0.060	<0.060	0.53	0.13	<0.060	0.0016	0.0038	0.00089	/
			H25	1.8	0.35	(0.31)	0.91	(0.092)	<0.60	0.75	0.21	(0.068)	0.0014	0.0035	0.0010	/
環境基準				3	200	200	150	/	/	/	/	/	/	/	/	/
※指針値				/	/	/	/	2	10	18	1.6	2.5	0.040	0.025	0.006	0.14

注) ・測定値は年平均値です。

年平均値の算出方法：月毎の測定値が検出下限値未満の時は、当該測定における測定結果を検出下限値の1/2として年平均値を算出しています。この方法によって算出した年平均値が、全測定の最大の検出下限値未満であった場合は「<検出下限値の最大値」として、全測定の最大の検出下限値以上かつ定量下限値未満であった場合はその値を括弧書きで表示しています。

- ・※指針値とは「環境中の有害大気汚染物質による健康リスクの低減を図るための指針となる数値」です。
- ・篠ノ井局及び鍋屋田局は長野市が測定した結果です。

図2-4-29 酸性雨調査結果

図2-4-30 酸性雨調査結果概要図

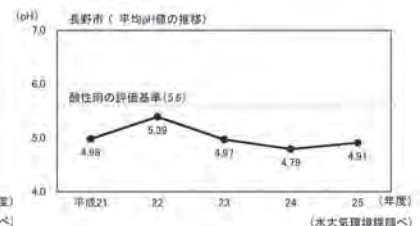
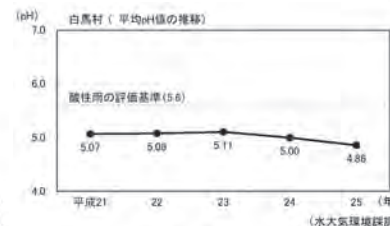
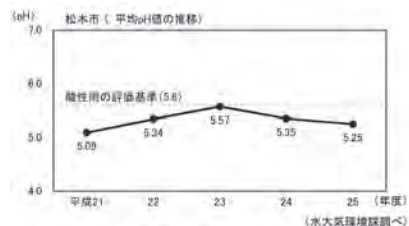
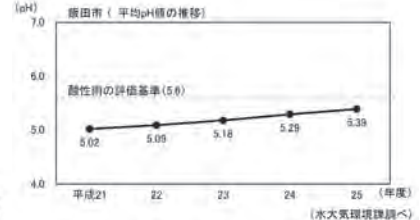
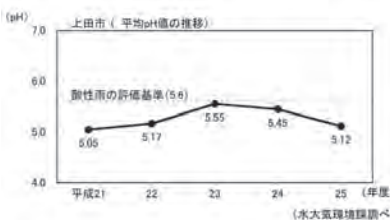
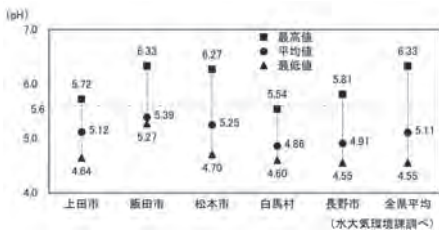


表2-4-20 大気汚染に係る環境基準と評価方法

物質	環境基準	評価方法（長期的評価）
二酸化窒素	1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内又はそれ以下であること。	年間にわたる1時間値の1日平均値のうち、低い方から98%に相当するもの（1日平均値の年間98%値）で評価を行う。
微小粒子状物質	1年平均値が15 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下（長期基準）であり、かつ1日平均値が35 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下（短期基準）であること。	短期基準（1日平均値）は測定結果の1日平均値のうち年間98パーセンタイル値を代表値として評価する。
光化学オキシダント	1時間値が0.06ppm以下であること。	
浮遊粒子状物質	1時間値の1日平均値が0.10mg/m ³ 以下であり、かつ1時間値が0.20mg/m ³ 以下であること。	年間にわたる1時間値の1日平均値のうち、高い方から2%の範囲にあるものを除外して評価を行う。
二酸化硫黄	1時間値の1日平均値が0.04ppm以下であり、かつ1時間値が0.1ppm以下であること。	ただし、1日平均値が環境基準を超えた日が2日以上連続しないこと。
一酸化炭素	1時間値の1日平均値が10ppm以下であり、かつ1時間値の8時間平均値が20ppm以下であること。	

注) 長期的評価とは、年間にわたる測定結果から、地域の大気汚染状況を的確に判断するための評価方法です。

短期的な測定等により、年間の測定結果が無い場合には、測定結果を環境基準と比較して評価します（短期的評価）

表2-4-32 一般環境大気環境基準達成状況

項目・年度 測定局名	二酸化硫黄			二酸化窒素			浮遊粒子物質			微小粒子状物質		
	23	24	25	23	24	25	23	24	25	23	24	25
環境保全研究所(長野市)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
長野市吉田				○	○	○						
長野市篠ノ井	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
長野市真島	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
長野市豊野				○	○	○						
松本	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
上田				○	○	○	○	○	○			
飯田				○	○	○						
諏訪	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
須坂												
伊那	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
大町				○	○	○						
佐久	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
木曾	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
小諸				○	○	○						
中野				○	○	○	○	○	○			
達成状況	8/8	8/8	8/8	15/15	15/15	15/15	10/10	10/10	10/10	6/6	6/6	6/6

表2-4-33 光化学オキシダントの環境基準超過日数

項目・年度 測定局名	23	24	25
環境保全研究所(長野市)	63	86	85
長野市吉田	59	51	23
長野市篠ノ井	50	31	10
長野市真島	56	54	7
長野市豊野	61	50	35
松本	13	45	37
上田	46	73	71
飯田	37	54	45
諏訪	57	79	36
須坂	72	50	110
伊那	26	70	50
大町	19	56	53
佐久	63	40	79
木曾	36	49	58
小諸	59	106	102
中野	46	70	63
達成状況	48	60	54

表2-4-34 道路周辺大気環境基準達成状況

項目・年度 測定局名	二酸化窒素			一酸化炭素			浮遊粒子物質			微小粒子状物質		
	23	24	25	23	24	25	23	24	25	23	24	25
長野市小島田	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
長野市鍋屋田	○	○	○				○	○	○	○	○	○
松本渚交差点	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
上田常磐城	○	○	○				○	○	○	○	○	○
更埴インターチェンジ	○	○	○				○	○	○	○	○	○
岡谷インターチェンジ	○	○	○				○	○	○	○	○	○
飯田インターチェンジ	○	○	○				○	○	○	○	○	○
達成状況	7/7	7/7	7/7	2/2	2/2	2/2	7/7	7/7	7/7	6/6	6/6	6/6

	環境基準	
	達成	未達成
6,000時間以上	○	●
6,000時間未満	△	▲

表2-4-35 アスベスト除去作業等件数

(平成25年度)

	届出件数	立会回数
大気汚染防止法関係	204	302

(長野市分を除く)

(水大気環境課調べ)

表2-4-36 アスベスト環境モニタリング調査結果 (平成25年度)

(単位：本/ℓ)

調査対象	調査地点	6月～7月	12月～1月	年平均値 (幾何平均)
一般環境	佐久市(県佐久合同庁舎) 1	0.58	0.29	0.41
	佐久市(県佐久合同庁舎) 2	0.47	0.40	0.43
	上田市(県上田合同庁舎) 1	0.50	0.39	0.44
	上田市(県上田合同庁舎) 2	0.47	0.16	0.27
	諏訪市(県諏訪合同庁舎) 1	0.33	0.22	0.27
	諏訪市(県諏訪合同庁舎) 2	0.36	0.12	0.21
	伊那市(県伊那合同庁舎) 1	0.29	0.19	0.24
	伊那市(県伊那合同庁舎) 2	0.25	0.25	0.25
	飯田市(県飯田合同庁舎) 1	0.14	0.24	0.18
	飯田市(県飯田合同庁舎) 2	0.28	0.14	0.20
	木曾町(県木曾合同庁舎) 1	0.37	0.12	0.21
	木曾町(県木曾合同庁舎) 2	0.44	0.33	0.38
	松本市(県松本合同庁舎) 1	0.32	0.097	0.17
	松本市(県松本合同庁舎) 2	0.15	0.29	0.21
	大町市(県大町合同庁舎) 1	0.53	0.11	0.24
	大町市(県大町合同庁舎) 2	0.53	0.14	0.27
	中野市(県中野庁舎) 1	0.24	0.20	0.22
	中野市(県中野庁舎) 2	0.19	0.17	0.18
	長野市(環境保全研究所安茂里庁舎) 1	0.58	0.31	0.42
	長野市(環境保全研究所安茂里庁舎) 2	0.57	0.41	0.48
道路周辺	松本市 渚 交差点	0.34	0.33	0.34

表2-4-40 新幹線鉄道騒音・振動調査結果

測定場所	地域類型	騒音環境基準 (dB)		振動 (dB)	平均速度 (km/h)	騒音環境基準 (dB)	振動指針値 (dB)
		25m	50m				
軽井沢町南原	I	66	63	56	150	70	70
軽井沢町長倉	I	69	65	53	193		
御代田町草越向原	I	69	63	58	190		
佐久市塚原	I	71	67	49	208		
佐久市塩名田	I	67	68	55	232		
東御市下之城	指定なし	68	65	49	250	-	
上田市長瀬	I	72	67	46	225	70	
上田市踏入	I	67	65	51	151		
上田市上塩尻	I	70	71	40	212		
千曲市屋代	I	72	70	65	253		
長野市篠ノ井みこと川	I	73	70	63	248		
長野市川中島町今井	I	68	66	53	200		
長野市川中島町四ツ屋	I	70	66	51	157		
長野市安茂里大門	I	67	66	44	104		

(注) 類型 I : 主として住居の用に供される地域

II : 商工業の用に供される地域等 I 以外の地域であって通常の生活を保全する必要がある地域
網掛け部は環境基準超過地点

表2-4-41 騒音規制法特定施設設置状況

	空気圧縮機	金属加工機械	合成樹脂用射出成型機	印刷機械	木材加工機械	織機	鋳型造形機	その他	計
施設数	8,139	5,137	1,791	1,372	922	297	257	281	18,196
割合	44.7%	28.2%	9.8%	7.5%	5.1%	1.6%	1.4%	1.5%	100.0%

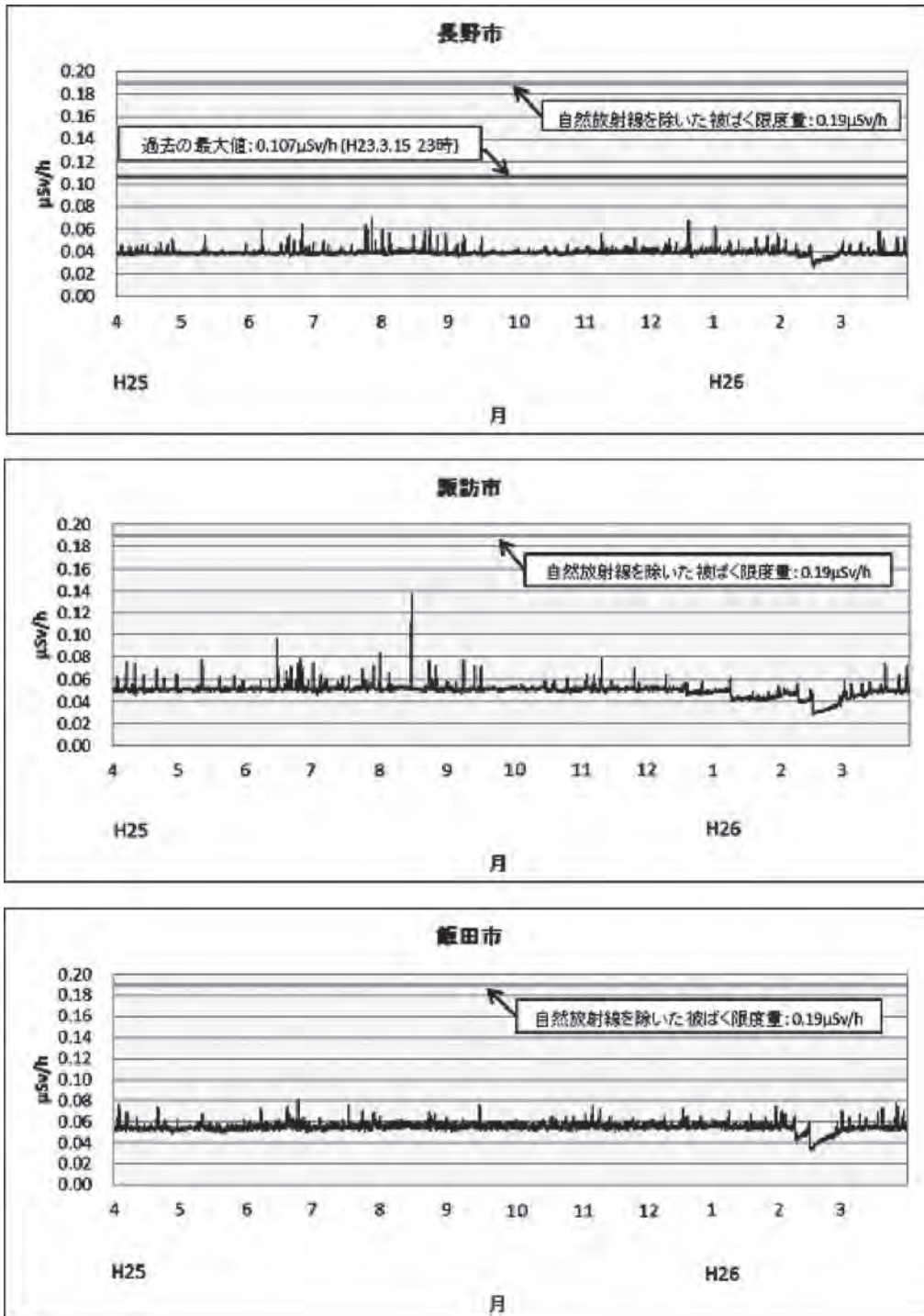
(注) 年度末現在の届出数

表2-4-42 振動規制法特定施設設置状況

	金属加工機械	圧縮機	合成樹脂用射出成型機	印刷機械	鋳型造形機	織機	その他	計
施設数	5,015	3,051	1,205	636	169	147	245	10,468
割合	47.9%	29.1%	11.5%	6.1%	1.6%	1.4%	2.3%	100.0%

(注) 年度末現在の届出数

図2-4-36 モニタリングポストによる空間放射線量の推移



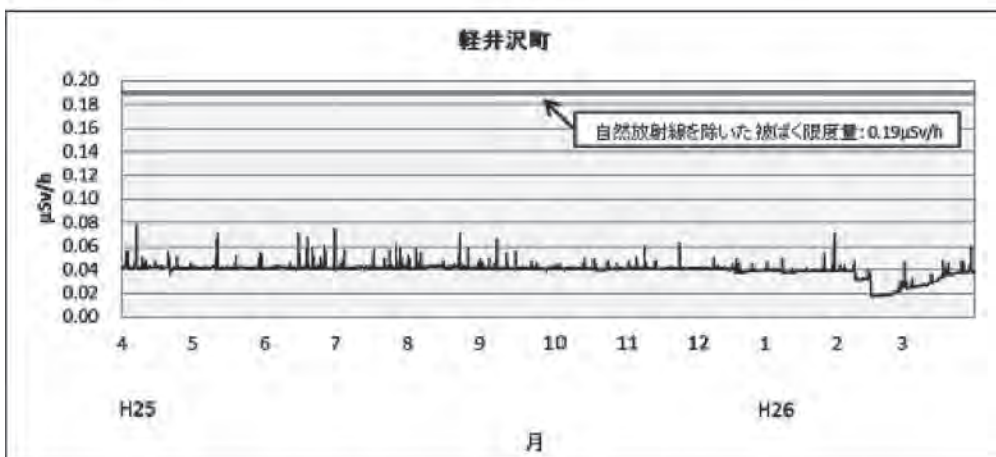
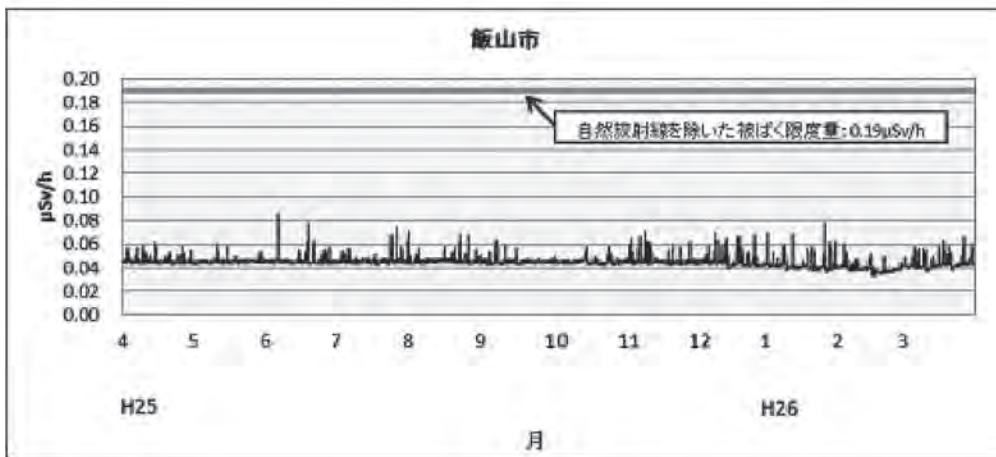
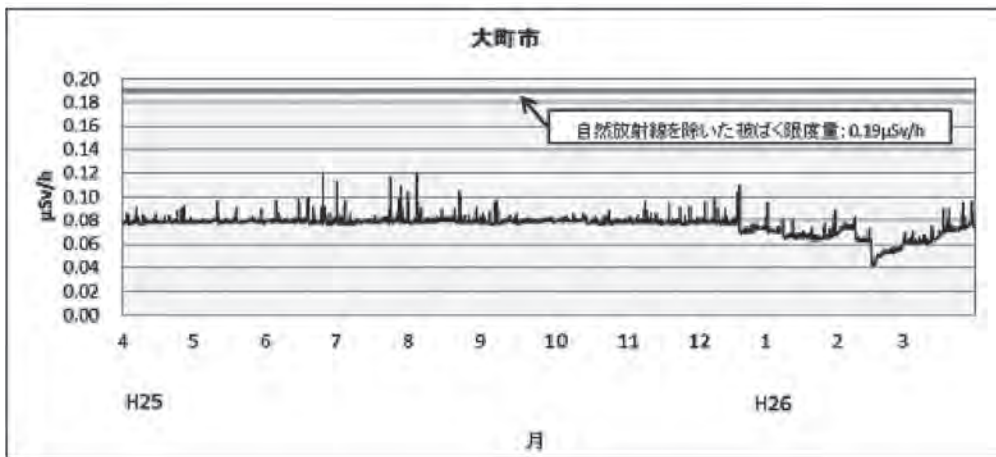
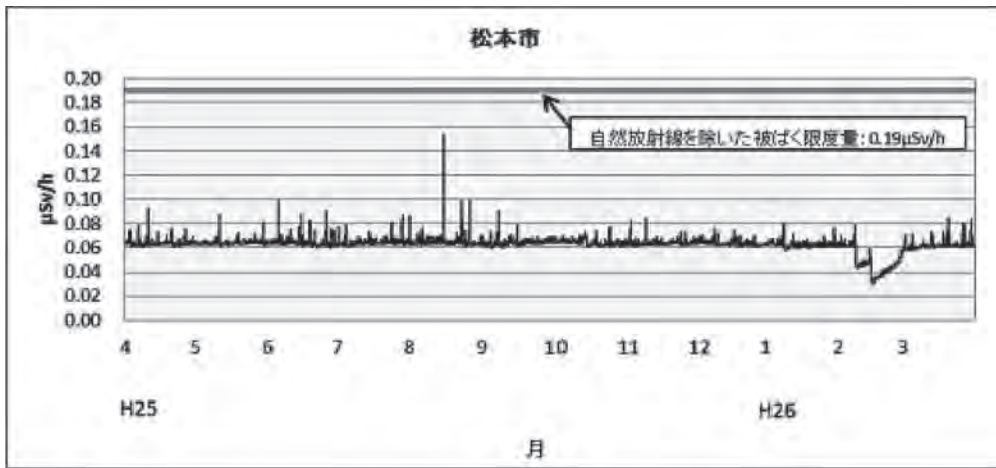


表2-4-59 土壤汚染対策法に基づく指定区域

(平成26年3月31日現在)

整理番号	指定年月日	指定区域の所在地	指定区域面積 (㎡)	指定基準に適合しない特定有害物質
整-16-2	平成16年10月12日	木曽郡木曽町	4,538.5	ふっ素及びその化合物
整-16-3	平成16年11月22日	伊那市	100	ほう素及びその化合物
整-19-1	平成20年3月31日	茅野市	110	シス-1,2-ジクロロエチレン、トリクロロエチレン
整-22-1	平成23年1月13日	上田市	21,877.8	1,1-ジクロロエチレン、シス-1,2-ジクロロエチレン、テトラクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン、トリクロロエチレン、ベンゼン、鉛及びその化合物、砒素及びその化合物
整-22-2	平成23年3月10日	茅野市	278.8	シアン化合物、ほう素及びその化合物
整-23-1	平成23年6月30日	中野市	1,062.07	砒素及びその化合物
整-23-2	平成23年9月29日	千曲市	20,418.55	鉛及びその化合物
整-23-3	平成23年11月17日	中野市	22,249.89	砒素及びその化合物
整-24-1	平成24年11月22日	伊那市	36.2	シス-1,2-ジクロロエチレン
整-24-3	平成24年11月29日	上伊那郡辰野町	1,000	トリクロロエチレン
整-25-1	平成26年1月16日	安曇野市	1,047	六価クロム化合物、シアン化合物、鉛及びその化合物、ふっ素及びその化合物

(水大気環境課調べ)

表2-5-1 長野県版レッドリスト種カテゴリー別集計表

■維管束植物 (2014年改訂) (単位:種・個体群)

種別等 カテゴリー	シダ 植物	種子植物		計		環境省レッド リスト掲載種
		裸子植物	被子植物	2014	2002	
絶滅(EX)	2	0	16	18	31	32
野生絶滅(EW)	0	0	1	1	0	10
絶滅危惧種計	76	7	721	804	759	2076
絶滅危惧IA類(CR)	20	2	249	271	280	519
絶滅危惧IB類(EN)	37	0	184	221	224	519
絶滅危惧II類(VU)	10	3	133	146	136	741
準絶滅危惧(NT)	9	2	155	166	119	297
情報不足(DD)	7	1	51	59	67	37
地域個体群(LP)	0	0	0	1	0	-
留意種(N)	1	0	11	-	135	-
計	86	8	801	895	992	2155
県産在来生種	312	34	2,633	2,979		
絶滅危惧種/県産在来生種(%)	24.4	20.6	25.8	26.99		

■脊椎動物 (2004年) (単位:種)

種別等 カテゴリー	哺乳類	鳥類	爬虫類	両生類	魚類	計	環境省レッド リスト掲載種
野生絶滅(EW)					3	3	
絶滅危惧IA類(CR)	2	6		3	2	13	9
I類IB類(EN)	2	6			2	10	9
絶滅危惧II類(VU)	4	17	1	1	2	25	10
準絶滅危惧(NT)	8	15		3	7	33	9
情報不足(DD)	2	4	3	1		10	3
小計	21	50	4	8	17	100	46
地域個体群(LP)	1	2			1	4	1
留意種(N)	4	6		1		11	4
総計	26	58	4	9	18	115	51
県内で記録のある種*	49	303	13	20	32	417	
絶滅危惧種の割合** (%)	32.7	14.5	7.7	35.0	40.6	19.4	

※:長野県内に生息する種類については、魚類は「長野県魚貝図鑑」(信濃毎日新聞社)、両生類・爬虫類・哺乳類は「日本産野生生物目録」(環境庁編)、鳥類は「長野県鳥類目録3」(日本野鳥の会長野支部)を参照した。
 ※※:絶滅危惧I類(絶滅危惧IA類、絶滅危惧IB類)絶滅危惧II類、準絶滅危惧のカテゴリーに含まれる種で県内に生息記録のある種に占める割合

表2-5-2 指定希少野生動植物等の指定状況
(平成26年4月30日現在)

分類	指定希少 野生動植物	特別指定希少 野生動植物
維管束植物	52種	うち 14種
脊椎動物	9種	うち 2種
無脊椎動物	11種	うち 3種

■無脊椎動物 (2004年) (単位:種)

種別等 カテゴリー	昆虫類	クモ類	貝類	ウズムシ類	カイメン類	計	環境省レッド リスト掲載種
野生絶滅(EW)							
絶滅危惧I類(CR+EN)	41	2	11	1	1	56	24
絶滅危惧IA類(CR)	3	-	-	-	-	3	3
I類IB類(EN)	7	-	-	-	-	7	7
絶滅危惧II類(VU)	126	1	9			136	17
準絶滅危惧(NT)	120	2	5			127	26
情報不足(DD)	37	3				40	2
小計	338	8	25	1	1	373	82
地域個体群(LP)	3					3	
留意種(N)	29		1			30	11
総計	370	8	26	1	1	406	93

■蘚苔類,藻類,地衣類,菌類 (2014年改訂) (単位:種)

種別等 カテゴリー	蘚苔類	藻類	地衣類	菌類	計	環境省レッド リスト掲載種
野生絶滅(EW)	0	1	0	0	1	2
絶滅危惧(CR+EN+VU)	90	14	36	3	143	480
準絶滅危惧(NT)	10	2	32	24	68	125
情報不足(DD)	17	0	38	68	123	157
留意種(N)	1	0				
計	118	18	106	95	336	798

■植物群落 (2014年改訂) (単位:群落)

群落種別	評価※	小計	計
	Bランク	52	
	Cランク	12	
群落複合	Aランク	10	27
	Bランク	14	
	Cランク	3	
計		104	

※:評価は評価得点の高い方からランク付け。
(出典:長野県版レッドリスト(2014))

表2-5-3 県天然記念物数
(平成26年3月31日現在)

県天然記念物		103件
内	植物	61件
	湿原	3件
	動物	20件
訳	化石	12件
	地質・鉱物	7件

(文化財・生涯学習課調べ)

図2-5-1 長野県自然公園等配置図（平成26年3月31日）



表2-5-4 自然公園利用者数の推移

(単位：千人)

区分		年				
		H21	H22	H23	H24	H25
県内の観光客数(A)		91,743	86,665	84,349	84,722	85,545
自然公園利用者数(B)		35,427	35,458	34,826	35,155	36,026
内訳	国立公園4地域	21,891	22,116	21,551	22,196	22,807
	国定公園3地域	10,921	10,771	10,808	10,681	10,864
	県立自然公園6地域	2,615	2,570	2,467	2,278	2,355
B/A比率(%)		38.6	40.9	41.3	41.5	42.1

(自然保護課調べ)

表2-5-5 自然公園内での行為の許認可等件数の推移

区分		年度				
		H21	H22	H23	H24	H25
国立公園	中部山岳	181	171	182	148	199
	上信越高原	237	279	349	367	282
	秩父多摩甲斐	4	6	7	3	0
	南アルプス	11	17	19	9	4
	小計	433	473	557	527	485
国定公園	八ヶ岳中信高原	162	189	222	250	265
	天竜奥三河	24	29	28	31	26
	妙義荒船佐久高原	4	10	9	6	17
	小計	190	228	259	287	308
県立自然公園	中央アルプス	50	53	67	62	52
	御岳	16	11	12	17	13
	三峰川水系	5	6	4	11	9
	塩嶺王城	2	1	0	1	2
	聖山高原	0	0	0	1	2
	天竜小渋水系	10	13	20	15	14
	小計	83	84	103	107	92
合計	706	785	919	921	885	

(自然保護課調べ)

表2-5-6 自然環境保全条例に基づく届出及び自然保護協定件数の推移

区分		年度							
		18	19	20	21	22	23	24	25
届出件数		23	32	28	24	22	10	21	27
協定件数	別荘団地	3	8	10	5	1	6	1	5
	スキー場	0	0	0	0	0	0	0	0
	ゴルフ場	0	0	0	0	0	0	0	0
	土砂の採取	28	11	16	13	8	13	8	20
	運動場	0	1	1	0	0	1	0	0
	その他	1	0	0	0	0	0	0	0
	計	32	19	27	18	8	20	8	25

(自然保護課調べ)

表2-5-8 施設整備の状況（平成25年度）

公園名	市町村	施設名等	事業概要	事業主体
上信越高原国立公園	栄村	苗場山登山道線歩道	歩道改修	長野県
中部山岳国立公園	松本市	上高地歩道	歩道補修ほか	長野県
	松本市	鈴蘭車道	舗装補修	長野県
	白馬村	黒菱唐松岳線歩道（八方尾根）	歩道改修	長野県
八ヶ岳中信高原国定公園	茅野市	中信高原線歩道	歩道改修	茅野市
	茅野市	横谷線歩道	車道舗装	茅野市
	茅野市	冷山城の平線車道	車道舗装	茅野市
	茅野市	白樺湖園地	園地整備	茅野市
	茅野市	蓼科湖園地	園地整備	茅野市
	諏訪市	七島・八島線歩道	歩道改修	諏訪市
	塩尻市	高ポッチ園地	園地整備	松本市
	長和町	美ヶ原（中信高原線歩道）	歩道改修ほか	長野県
	佐久穂町	八千穂高原	園路整備	佐久穂町
中部北陸自然歩道	塩尻市	木曾工芸の里峠越えのみち	トイレ改修	塩尻市
	佐久市	蓼科山麓と松並木のみち	道標整備	長野県
	大桑村	川西古道と桃介橋のみち	道標整備	長野県
	大町市	北信五岳を望むりんごの里のみち	道標整備	長野県

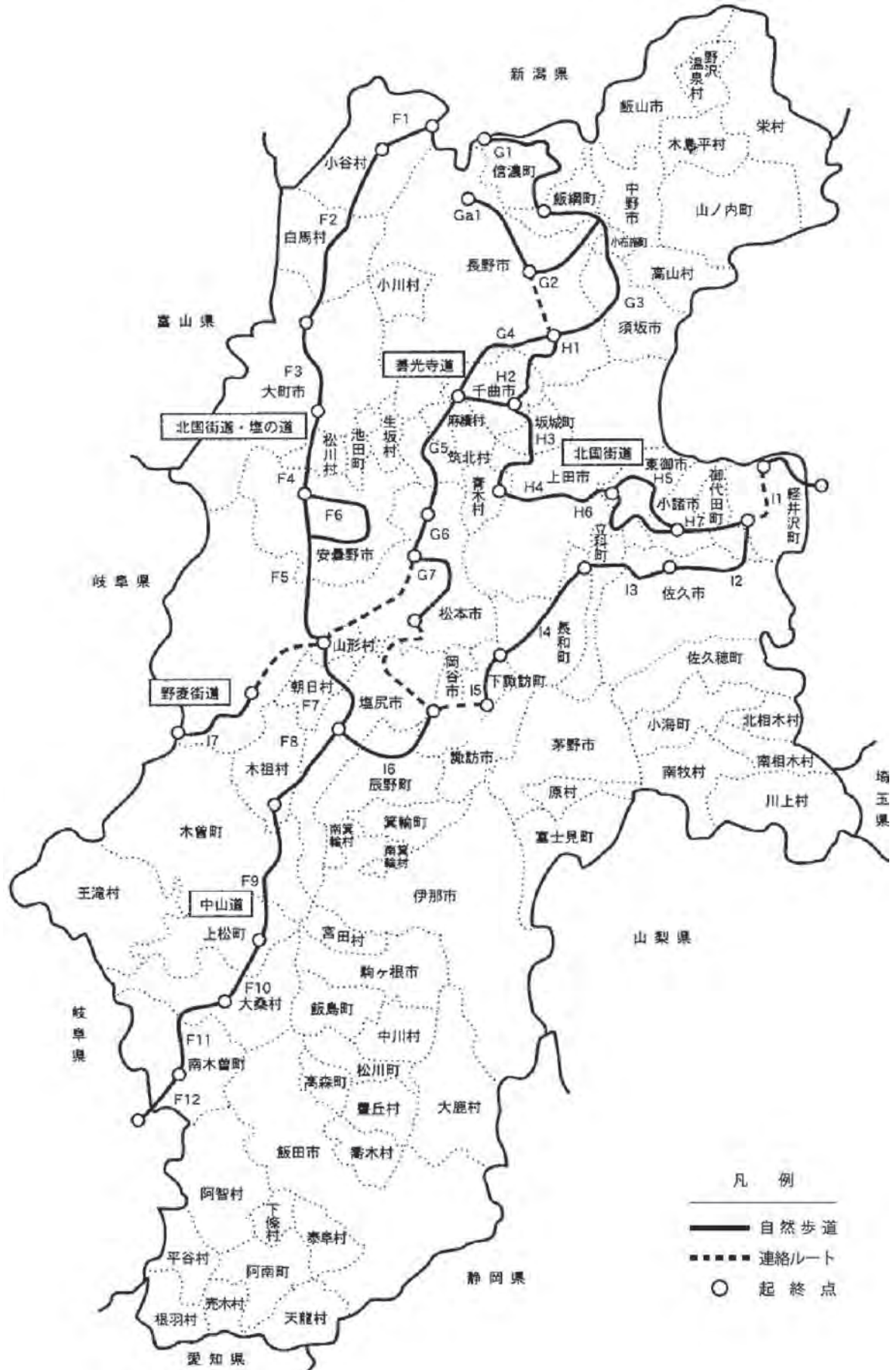
（自然保護課調べ）

表2-5-9 国又は県が設置した博物展示施設（ビジターセンター）

施設名	上高地ビジターセンター（国有）	志賀高原自然保護センター（県有）	霧ヶ峰自然保護センター（県有）	乗鞍自然保護センター（県有）	美ヶ原自然保護センター（県有）
公園名	中部山岳国立公園	上信越高原国立公園	八ヶ岳中信高原国定公園	中部山岳国立公園	八ヶ岳中信高原国定公園
所在地	上高地	志賀高原	霧ヶ峰高原	乗鞍高原	美ヶ原高原
面積	921.80㎡	926.50㎡	575.00㎡	835.45㎡	629.36㎡
設立	平成13年8月	平成9年6月	昭和48年8月	昭和54年11月	平成5年3月
展示内容	中部山岳国立公園を代表する上高地の歴史や動植物についてパネル等を使い展示	変化に富む志賀高原の自然について紹介	霧ヶ峰の特徴である高層湿原の植生を中心に展示	動植物、地理、地質、生活、文化などのコーナーを設け、乗鞍高原の姿を紹介	大規模な草原である美ヶ原台上の植生やシカの食害状況などを紹介
利用者数(H25)	142,413人	35,549人	18,747人	7,957人	12,355人

（自然保護課調べ）

図2-5-2 中部北陸自然歩道全体図（平成26年3月31日現在）



資料

図2-5-3 自然公園等利用施設位置図（平成26年3月31日現在）

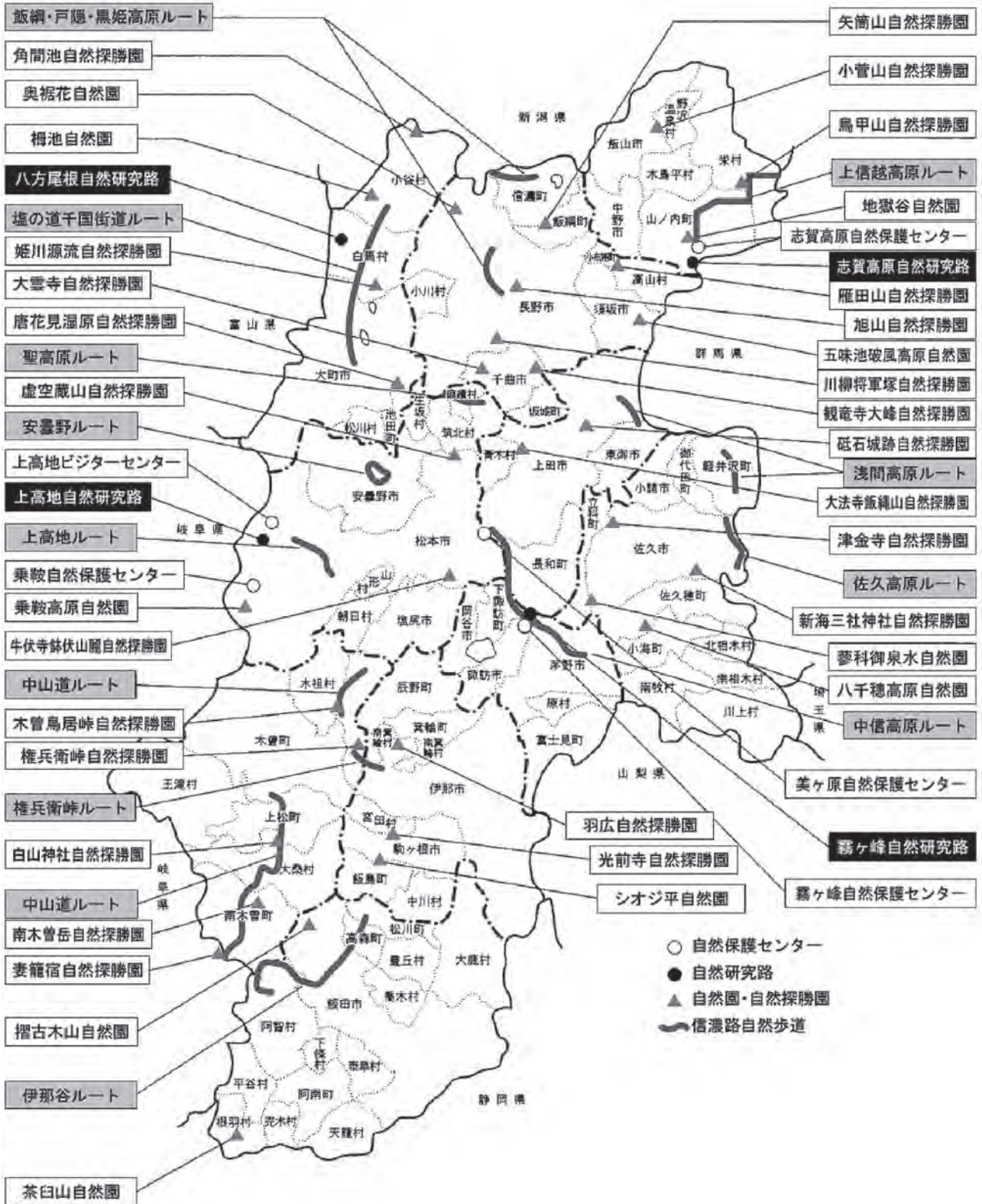


表2-5-13 認定された県内の「森林セラピー基地」・「セラピーロード」

認定時期	市町村名(地区名)	区 分	セ ー ル ス ポ イ ン ト
第一期 (H18)	南箕輪村(大芝高原)	ロ ー ド	隣接する大芝公園には各種スポーツ施設、オートキャンプ場、日帰り温泉など施設が充実
	信濃町(黒姫高原他)	基 地	町独自の森林療法やメディカルトレーナーの指導で癒し効果もアップ
	飯山市(斑尾・小菅他)	基 地	参加者自らウェブシステムを使ってつくる、温泉浴や郷土食等と組み合わせたセラピープラン
	上松町(赤沢)	基 地	樹齢300年を越えるヒノキ天然林や木曽病院と連携して開設するセラピードック
	佐久市(平尾・春日)	基 地	佐久平を一望する眺望や風の音しか聞こえない森の静寂が楽しめる
第二期 (H19)	小谷村(村内一円)	基 地	樽池自然園、塩の道、池や山岳を巡るトレッキングコースなど楽しみ方は多彩
	木島平村(カヤの平)	基 地	樹齢300年を越えるブナの天然林や高山植物が咲き乱れる高層湿原を巡る遊歩道が魅力
第三期 (H20)	山ノ内町(志賀高原)	基 地	うるわしの森は暖かな木洩れ陽、小鳥のさえずり、森の香り溢れる原生林、湿原・湖など北欧を思わせる自然風景のクアな森
第四期 (H21)	阿智村(智里)	ロ ー ド	春は水芭蕉、夏は高原、秋は紅葉、冬はスキーと四季を通じて魅力あふれるエリア
第八期 (H25)	松川村(およりの森)	基 地	清流のせせらぎ 吹き抜ける風音 安らぎ空間の広がるリフレッシュタウンまつかわの里

(信州の木活用課調べ)

表2-5-14 市町村計画の策定状況

年度	市町村名
平成8年度	小布施町、下條村、辰野町、宮田村、明科町・豊科町・三郷村(安曇野市)、飯山市、野沢温泉村
平成9年度	木島平村、伊那市、長門町(長和町)、箕輪町、東部町(東御市)、松本市、飯田市
平成10年度	上田市、駒ヶ根市、大町市、池田町、白馬村、松川村、八坂村・美麻村(大町市)、小谷村
平成12年度	小諸市、堀金村(安曇野市)
平成13年度	泰阜村、南相木村、真田町(上田市)、木曾福島町(木曾町)、信濃町、大岡村(長野市)
平成14年度	奈川村(松本市)
平成15年度	立科町、飯島町
平成16年度	中川村、梓川村(松本市)、朝日村、鬼無里村(長野市)、上村(飯田市)、阿智村
平成17年度	南信濃村(飯田市)、阿南町、豊丘村

[計画内容]

- ・整備地区の区域、土地利用に関する方針
- ・農作業体験施設等の整備計画など
- ・平成18年以降は策定実績なし

表2-5-15 農林漁業体験民宿業者の登録状況

(平成26年3月末現在)

長野県①	全国②	①÷②	備 考
62軒	410軒	15.1%	飯山市(30軒)、白馬村(6軒)、他10市町村(26軒)

(注) 農林漁業体験民宿業とは
 農林漁業者又はその組織する団体が、民宿とともに、農作業・収穫物の加工・郷土料理体験等のサービスを提供する業を行うもので、(財)都市農山漁村交流活性化機構の登録を受けたもの。
 (地域振興課調べ)